目　　次

Ⅰ．総括研究報告
受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究 ---------- 1ー 3
大和　浩

II．分担研究報告
各種施設における受動喫煙対策の実態調査 ---------- 4ー10
大和　浩

資料１：新幹線における受動喫煙対策の推移-
資料２：JR６社、在来線特急における禁煙化率の推移
資料３：JR６社、在来線特急における受動喫煙対策の改善状況
資料４：JR６社、在来線特急における受動喫煙曝露一覧表
資料５：私鉄有料特急における受動喫煙曝露一覧表
資料６：プロ野球球場における受動喫煙対策一覧表
資料７：医学部における敷地内禁煙導入状況一覧表
資料８：医学部附属病院における敷地内禁煙導入状況一覧表
資料９：医学部と附属病院の敷地内禁煙状況のまとめ
資料 10：歯学部における敷地内禁煙導入状況一覧表
資料 11：歯学部附属病院における敷地内禁煙導入状況一覧表
資料 12：歯学部と附属病院の敷地内禁煙状況のまとめ
資料 13：秋田県内全域のホテルにおける受動喫煙対策調査結果
資料 14：ホテル内飲食店における受動喫煙対策評価方法（案）
資料 15：本研究成果の新聞、インターネット報道記事

Ⅲ．研究成果の観光に関する一覧表　：なし

厚生労働科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）
平成18年度研究 総括報告書

受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究

主任研究者　大和　浩　産業医科大学　産業生態科学研究所　教授

研究要旨：公共空間、特に、鉄道（新幹線、JR６社の在来線特急、私鉄有料特急）、プロ野球球場、医・歯学部およびその附属病院、ホテル、飲食店におけるに受動喫煙対策の実態とその進捗状況を明らかにすることを目的として、アンケートおよび立ち入り調査をおこなった。鉄道、プロ野球球場の受動喫煙対策は平成 18 年度に大きな改善が認められた。また、医・歯学部においても平成 18 年度以降に敷地内禁煙を導入する大学が急増していることが認められた。ホテルの禁煙ルームの割合については、地域による大きな差異は認められなかった。調査結果は下記ホームページに公表する形で対象施設にフィードバックした。また、学会で報告された本研究の内容が新聞やインターネットなどのマスコミでも報道され、その後、鉄道、野球場、医学部については自主改善の動きが認められていることから、この調査手法は各施設の管理者に対して受動喫煙対策を促す効果があることが示唆された。今後は、調査の対象範囲を拡大するとともに、すでに調査が行われた施設については再調査を行う予定である。
研究成果の一覧 URL：http://www.tobacco-control.jp/

分担研究者
田中勇武　産業医科大学 産業生態科学研究所 教授
大神　明　産業医科大学 産業生態科学研究所 助教授
太田雅規　産業医科大学 産業生態科学研究所 講師
大藪貴子　産業医科大学 産業生態科学研究所 助手
吉積宏治　産業医科大学 産業生態科学研究所 助手

A．研究目的

2003 年５月のＷＨＯ総会にて「たばこ規制枠組み条約(FCTC)」が採択され、わが国も 2004 年６月に条約を批准し、2005 年２月に条約は発効となった。第８条「たばこの煙にさらされることからの保護」では、「締約国は、屋内の職場、公共の輸送機関、屋内の公共の場所及び適当な場合には他の公共の場所におけるたばこの煙にさらされることからの保護・・中略・・効果的な措置の採択及び実施を積極的に促進する」ことが定められている。

わが国においては、健康日本 21（2000 年）、健康増進法（2003 年）および職場における喫煙対策のためのガイドラインの改訂（2003 年）により、学校、病院、官公庁、公共施設、職域を中心に受動喫煙対策は大幅な進捗がみられ始め、関係機関による統一的な調査もおこなわれている。しかし、民営の公共交通機関、学校、病院、大規模店舗、遊技場、飲食店、宿泊施設における受動喫煙対策の実態調査はおこなわれていない。

本研究の目的は、これまでに受動喫煙対策に関する実態調査が行われてこなかった業種・業界の調査を行い、その結果を業種別・業種内比較、地域間の一覧表として調査対象施設にフィードバックすることにより、対策が遅れている施設の自主改善を促すことである。

B．研究方法

１．対象施設と調査内容

１）鉄道（JR新幹線、JR在来線特急）
　受動喫煙が発生する車両の特定
　新幹線の路線ごとの禁煙化率の比較
　在来線特急のJR６社間の禁煙化率の比較
　私鉄優良特急の受動喫煙対策の比較

２）大型遊戯施設（プロ野球球場）
　球場の受動喫煙対策の比較

３）医学部
　医学部80校の敷地内禁煙導入状況
　附属病院83施設の敷地内禁煙導入状況

４）歯学部
　歯学部29校の敷地内禁煙導入状況
　附属病院32施設の敷地内禁煙導入状況

５）ホテル（秋田県全域）
　禁煙ルームの導入状況

２．環境タバコ煙濃度測定

受動喫煙曝露の指標として浮遊粉じん濃度をデジタル粉じん計（柴田科学、LD-3K）を用いて連続測定をおこなった。質量濃度変換係数は0.0008（mg/m^3）/cpmを用いた（平成17年度の調査に使用）。

（倫理面での配慮）

本研究における環境タバコ煙（粉じん濃度）の濃度測定は公共空間でおこなわれている。必要な場合には施設管理者の許可を得て測定をおこなった。粉じん濃度、対策状況の調査結果は不特定多数の者が使用する公共空間であり、倫理に関わる問題は発生しない。

Ｃ．研究結果

本研究の成果は下記のURLに公表されており、URLを資料として参照しながら、結果を述べる。
http://www.tobacco-control.jp/

１）鉄道（新幹線、JR在来線特急、私鉄）

本研究班では、１日に運行される総車両数に対して受動喫煙を受けない車両の比率を禁煙化率と定義して路線間、運行会社間の比較に用いた。

ア）新幹線

2007年3月18日のダイヤ改正後における新幹線５路線の禁煙化率は、従来から全車両が禁煙であった九州新幹線（100%）、長野新幹線（100%）に加え、2007年3月18日のダイヤ改正により上越新幹線（100%）、東北・秋田・山形新幹線（100%）で大幅に改善された。東海道・山陽新幹線の禁煙化率は42%にとどまった（**資料１**）。

ィ）JR６社の在来線特急

2006年3月より道内を発着する在来線特急の全車両禁煙化を導入したJR北海道の禁煙化率は97.3%であった。2007年3月18日のダイヤ改正により全ての特急が禁煙車両となったJR東日本の禁煙化率は97.8%、禁煙車両を増加させたJR九州で89.6%、JR東海：63.3%、JR西日本：47.2%といずれも大幅に改善したが、JR四国は19.8%にとどまった（**資料２〜４**）。

私鉄については有料特急の禁煙車両における受動喫煙の有無に関する一覧表を作成した（**資料５**）。

詳細は分担研究報告書に記載した。

２）プロ野球が使用する野球場

平成17年度のドーム型球場の受動喫煙対策の粉じん濃度調査に基づきアンケート調査をおこなった。プロ野球球団がホームグラウンドとして使用する13球場の受動喫煙対策の実態を以下に示す。

・ 建物内禁煙：
　　福岡ヤフージャパンドームなど５球場
・喫煙室＋排気設備：札幌ドームなど２球場

良好な受動喫煙対策がとられているのは13球場のうち７球場であった（**資料６**）。６球場は喫煙コーナーを設定したのみの不十分な対策であった。

３）医学部および附属病院の敷地内禁煙状況

全国の医学部80校のうち23校がすでに敷地内禁煙を導入しており、4校が敷地内禁煙を導入する期日を決定していた。

医学部附属病院83施設のうち、37施設がすでに敷地内禁煙を導入しており、6施設が敷地内禁煙を導入する期日を決定していた（**資料７〜９**）。

詳細は分担研究報告書に記載した。

４）歯学部および附属病院の敷地内禁煙状況

全国の歯学部29校（31キャンパス）のうち、3校がすでに敷地内禁煙を導入しており、2校が敷地内禁煙を導入する期日を決定していた。

歯学部附属病院32施設のうち、12施設がすでに敷地内禁煙を導入しており、2施設が敷地内禁煙を導入する期日を決定していた（**資料10〜12**）。

詳細は分担研究報告書に記載した。

５）ホテル

秋田県全域の50室以上の規模の63ホテル、6721室における禁煙ルームは1300室であり、その割合は19.3%であった（**資料13**）。

また、ホテル内の飲食店の受動喫煙対策を評価する際の基準を作成した（**資料14**）。

Ｄ．考察

いずれの業種、業界においても公共空間での受動喫煙が発生しているが、その状況は本研究が開始された2005年以降、急速に改善されつつあることが明らかとなった。

本研究の手法である特定の業種・業界の全数調査を行ない、その結果を各施設にフィードバックすることは、対策の不十分な施設に対して改善を促す作用を持っていること、また、結果を学会やマスコミに公開すること、および、繰り返し調査

をおこなうことを予告することで改善を促す効果が発生する可能性が示唆された。

E．結論

特定の業種・業界における受動喫煙対策のモニタリングをおこなうことは、施設の管理者に受動喫煙対策の自主改善を促す効果があることが示唆された。

受動喫煙対策の整備により禁煙を決意する喫煙者が増え、また、受動喫煙を受ける非喫煙者が減ることは、わが国における喫煙関連疾患を減少させる上で重要な対策であると考えられた。

F．研究発表　（分担研究に掲載）

H．知的財産権の出願・登録状況

この研究において、知的財産権に該当するものはなかった。

厚生労働科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）
平成18年度研究 分担報告書

各種施設における受動喫煙対策の実態調査

分担研究者	産業医科大学	産業生態科学研究所	教授	大和　浩
	同　上		教授	田中勇武
	同　上		助教授	大神　明
	同　上		講師	太田雅規
	同　上		助手	大藪貴子
	同　上		助手	吉積宏治

研究協力者	産業医科大学	産業生態科学研究所	専門修練医	永渕祥大
	同　上		専門修練医	瀧上知恵子
	同　上		専門修練医	江口将史
	産業医科大学	医学部		本多　融
	同　上			安藤　肇
	東京大学	医学系研究科　国際地域保健学教室		中田ゆり
	岐阜女子大学生活科学研究部		教授	飯田真美
	せたな町瀬棚国保医科診療所		副所長	吉岡和晃
	ＮＰＯ法人	京都禁煙推進研究会	理事長	田中善紹
	ＮＰＯ法人	京都禁煙推進研究会	担当理事	栗岡成人
	鉄道の調査に関する情報提供担当		交通権学会	半沢一宣

研究要旨：わが国における受動喫煙対策の実態を把握するために、１）公共性が高い施設として鉄道（新幹線、JR６社在来線特急、私鉄有料特急）、２）不特定多数の人が集まる場所としてプロ野球の球場、３）先進的な受動喫煙対策として敷地内禁煙の導入が望まれる施設として医・歯学部およびその附属病院、４）日常生活で使用する場所としてホテルおよびその飲食店の調査をおこなった。鉄道と飲食店における受動喫煙の曝露濃度は平成17年度の本研究でおこなった浮遊粉じん濃度の測定結果から類推した。

今回の調査がおこなわれた施設では、自主的な改善が急速に進んでいることが認められた。このような調査を行うこと自体が対策の改善を促す効果があることが示唆された。今後、さらに調査の対象を拡大するとともに、対象となった施設の受動喫煙対策の経年変化を観察していく予定である。

Ａ．研究目的

日本は欧米の先進国に比較して受動喫煙対策が遅れていることが指摘されている。わが国においても健康日本21（2000年）、健康増進法（2003年）および職場における喫煙対策のためのガイドラインの改訂（2003年）により、学校、病院、官公庁、公共施設、職域を中心に受動喫煙対策は大幅な進捗がみられ始めた。しかし、民営の公共交通機関、大規模店舗、遊技場、飲食店、宿泊施設などの各業種・業界における受動喫煙対策に関する実態調査はこれまでにおこなわれていない。

本研究の目的は、これまでに受動喫煙対策に関する実態調査が行われてこなかった業種・業界の調査を行い、その結果を業種別・業種内比較、地域間の一覧表として調査対象施設にフィードバックすることにより、対策が遅れている施設の自主改善を促すことである。

研究方法

１．環境タバコ煙濃度の評価（平成17年度）

受動喫煙曝露の指標として浮遊粉じん濃度をデータログ機能を内蔵したデジタル粉じん計（柴田科学、LD-3K）を用いて連続測定をおこなった。粉じん濃度の測定値(count per minute: cpm)に質量

濃度変換係数 0.0008（mg/m^3）/cpm　を乗じ、環境タバコ煙濃度を求め、表計算ソフトによりグラフを作成した。受動喫煙の曝露はリアルタイムモニタリング、および平均濃度により評価をおこなった。

２．対象施設と調査内容

１）鉄道の受動喫煙対策

平成17年度までに行った列車内における粉じん濃度の調査結果から、禁煙車両であるにもかかわらず受動喫煙が発生するのは、

1) 喫煙車両の両隣の車両、
2) デッキに灰皿がある場合はその両隣の車両、
3) デッキに喫煙室がある車両、

の３つの場合であると定義した。なお、列車連結部に自動で閉まるドアがある寝台車については例外した。

ア）新幹線、JR６社の在来線特急

全ての列車の立ち入り調査を行うことで時刻表には記載されていないデッキ部分の灰皿の場所を特定し、受動喫煙が発生する禁煙車両を特定した。１日に運行される特急の本数に編成車両数および受動喫煙のない車両数を乗じることで、１日に運行される総車両数、および、受動喫煙のない清浄な空気の車両数を算出した。本研究班では、新幹線については各路線、在来線特急については各運行会社単位で１日の総車両数に対する受動喫煙のない車両数の割合を禁煙化率として定義した。

本研究期間に含まれる2006年3月のダイヤ改正以前と以後、および、2007年3月のダイヤ改正後の３つの時点における禁煙化率を検討した。

ィ）私鉄有料特急

JRのように統一された形の時刻表が存在しないため、JRで用いたルールに従い、受動喫煙の有無が判断できる一覧表の作成をおこなった。

２）プロ野球球場の受動喫煙対策

大型の遊戯施設で実施しうる受動喫煙対策として以下の４つの方法が存在することを報告した。

1) 建物内禁煙
2) 喫煙室（排気の強化あり）
3) 喫煙コーナー（排気の強化あり）
4) 喫煙コーナー（排気の強化なし）

平成17年度の調査では、3)、4)の喫煙コーナーは対策として不十分であり、少なくとも1)建物内禁煙か2)排気を強化した喫煙室が必要であることが認められた。

平成18年度は、これらの測定結果を同封した上で、プロ野球球団が本拠地とする13球場における受動喫煙対策のアンケート調査をおこなった。なお、平成17年度の報告書の資料１を同封し、イメージが捉えやすいように配慮した。また、各施設への結果のフィードバックはインターネットに公表した一覧表を通して行った。

３）医学部と附属病院の敷地内禁煙導入状況

地域医療の拠点であり、また、医師・看護師を養成する教育機関である医学部における受動喫煙対策は、治療と教育という観点から敷地内禁煙であることが望まれる。医学部の敷地内禁煙は2003年に秋田大学で始まり、ニコチン依存症管理料が保険適用となった2006年6月以降、急速に全国に広まりつつあるが、その一方で、いまだに屋内で喫煙が可能な医学部、附属病院も存在している。

全国の医学部および附属病院における敷地内禁煙導入状況を把握するために、医学部の責任者（総合大学では医学部長、単科大学では学長）および附属病院の病院長あてにアンケート調査をおこなった。期限内に返答が無い場合には再度アンケートを郵送し、電話・ファクシミリによる督促を行い、全ての施設から回答を得た。

なお、この調査は日本呼吸器学会に設置された「喫煙問題に関する検討委員会」（委員長：永井厚志、東京女子医科大学附属病院長）との共同調査として行われた。

４）歯学部と附属病院の敷地内禁煙導入状況

医学部と同じ手法を用いて全国の歯学部の敷地内禁煙導入状況に関する調査を行った。

なお、この調査は11の医学会が組織する「禁煙推進学術ネットワーク」（委員長：藤原久義、日本循環器学会）との共同調査として行われた。

５）ホテル（公共空間、飲食店）の受動喫煙対策

平成17年度に京都市、福岡市、北九州市、福島市の一定規模以上のホテルの調査を行った。

平成18年度は、秋田県健康増進課の協力を得て、秋田県全域で50室以上の全ての民間ホテルの調査を行った。受動喫煙対策に関するアンケート調査票を郵送し、後日、秋田県各地の保健所の担当者が各ホテルを訪問してアンケートを回収した。

アンケート回収の際に、担当者が回答と対策の実態が一致するかどうか確認をおこなった。

ア）ホテル内公共空間の受動喫煙対策

調査内容は以下のとおりである。

1) 健康増進法、FCTCの認知度
2) 全ルーム、全フロアに占める禁煙ルームと禁煙フロアの数とその割合
3) 公共空間（フロント、エレベーターホール、宴会場周囲）の受動喫煙対策
4) 飲食店における受動喫煙対策
5) 今後の受動喫煙対策の方針

（倫理面での配慮）

本研究における環境タバコ煙（粉じん濃度）の濃度測定および受動喫煙対策の実態調査は一般の利用者が立ち入ることのできる公共空間でおこなわれた。必要な場合には施設管理者の許可を得て調査をおこなっており、倫理に関わる問題は発生しない。なお、ホテルでおこなったアンケート調査は記名式でおこなわれたが、結果の公表時には個別のホテル名は記載しないことで了解を得ている。

Ｃ．研究結果

本研究の成果は下記のURLに公表されており、URLを資料として参照しながら、結果を述べる。

http://www.tobacco-control.jp/

１）鉄道の受動喫煙対策

1) 新幹線の禁煙化率

平成17年度は、新幹線とJR在来線特急の全ての車両の立ち入り調査を行い、2006年３月のダイヤ改正以前の状態における受動喫煙を受けない車両の一覧表を作成し、ベースラインの禁煙化率を算出した。

平成18年度は2006年3月のダイヤ改正後と2007年3月のダイヤ改正後の状態についても同様の一覧表を作成し、禁煙化率の変化として評価した。

表１に新幹線の禁煙化度を路線別に示す。本調査開始以前から全車両禁煙化されていた九州新幹線（2005年開業以来）と長野新幹線（2005年12月に全車両禁煙化）は禁煙化率100％で変化はなかった。2007年3月のダイヤ改正で全車両が禁煙化された上越新幹線（44→44→100％）、および、東北・秋田・山形新幹線（42→42→100％）では禁煙化率が100％に到達した。2006年3月に16両編成の４号車が禁煙化された東海道・山陽新幹線は37→42→42％と若干の改善は認められるものの、禁煙化率の上昇はわずかであった（**資料１**）。

表１．新幹線の禁煙化率

	2006年		2007年
	3月以前	3月以降	3月以降
九州新幹線：（420両／日）	100％	100％	100％
長野新幹線：（456両／日）	100％	100％	100％
上越新幹線：（1036両／日）	44％	44％	100％
東北/秋田/山形：（2181両／日）	42％	42％	100％
東海道・山陽：（5590両／日）	37％	42％	42％

2) JR６社の在来線特急の禁煙化率

JRが発行する時刻表の列車編成表には喫煙コーナー（灰皿と喫煙室）があることが記載されているが、デッキのどちら側に灰皿が設置されているかまでは掲載されていない。そのため、全ての特急の立ち入り調査を実施し、禁煙車両の受動喫煙の原因となる灰皿と喫煙室の有無、位置を確認し、受動喫煙の有無を特定できる一覧表を作成した。平成17年度には寝台車の調査が行われなかったため、平成18年度は寝台車も含めて調査を行い、2006年3月以前のベースラインデータを修正した。

本研究開始後のJR６社の禁煙化率の変化を**資料２**に示す。2006年3月のダイヤ改正でJR北海道は道内を発着する在来線特急の全車両を禁煙化し、2007年3月のダイヤ改正ではJR東日本が新幹線と特急の全車両の禁煙化を実施した。寝台車以外の特急が禁煙化されたことで、JR北海道の禁煙化率は53.4→92.1→97.3％、JR東日本50.6→50.4→97.8％となった。JR九州では１編成あたりの車両

数と運行本数が多い特急を禁煙化したことにより、45.7→45.7→89.5%と禁煙化率の大幅な改善が得られた（南九州の特急３種類、観光列車５種類は変化なし）。JR東海とJR西日本も一部の特急で全車両を禁煙化、もしくは、禁煙車両を拡大させたことにより、JR東海で23.7→33.1→54.2%、JR西日本で11.6→11.6→46.6%と禁煙化率が上昇した。JR四国は平成20年を目標に、順次、喫煙車両を廃止し、全席禁煙化（ただし、喫煙室を設置）することを計画している。現時点ではデッキに灰皿が残っている特急が多く、JR四国の禁煙化率は17.9→18.5→19.8%にとどまった。

本調査の過程で撮影したJR６社の代表的な在来線特急のデッキの灰皿もしくは灰皿が撤去された痕跡を**資料３**として添付する。

表２．JR在来線特急の禁煙化率

運行会社	2006年		2007年
（総車両数／日）	3月以前	3月以降	3月以降
JR東日本：	50.6%	50.4%	97.8%
（3372両／日）			
JR北海道：	53.4%	92.1%	97.3%
（ 746両／日）			
JR九州：	45.7%	45.7%	89.6%
（1990両／日）			
JR東海：	23.7%	33.1%	63.3%
（ 441両／日）			
JR西日本：	11.6%	11.6%	47.2%
（2054両／日）			
JR四国：	17.9%	18.5%	19.8%
（ 622両／日）			

注：１日の運行車両総数は2007年3月のダイヤ改正後の値を示す（**資料４**）。

3)私鉄有料特急の受動喫煙対策

全国で14社が有料の特急を運行している。平成18年度の事業として、研究協力者の半沢一宣氏に禁煙車両における受動喫煙の発生状況の一覧表作成を依頼した（**資料５**）。2007年3月18日のダイヤ改正で関東の私鉄では、京成電鉄以外の全ての喫煙車両が廃止された。喫煙車両を運行するのは京成電鉄、近畿日本鉄道、南海電気鉄道の３社が運行するのみとなった。なお、私鉄には統一された形式での時刻表と列車編成表がないため、JRのような禁煙化率の算出は行わうことが出来なかった。

２）プロ野球球場の受動喫煙対策

13施設のうち、従来から建物内禁煙であった５施設に加え、2007年１ー2月に建物内禁煙が実施された東京ドームと千葉マリンスタジアムを加えた７施設の受動喫煙対策は良好であることがわかった（**資料６**）。

・建物内禁煙：５施設
　福岡ヤフージャパンドーム、神宮球場、
　フルキャストスタジアム宮城
　千葉マリンスタジアム、東京ドーム、
・喫煙室（排気装置つき）：２施設
　札幌ドーム、
　ナゴヤドーム（ただし５階は喫煙コーナー）

上記以外の６施設は喫煙コーナーを設定したのみで不十分な対策であった。

３）医学部と附属病院の敷地内禁煙導入状況

2007年1月時点における敷地内禁煙の導入状況を表３に、個別の状況を**資料７、８**示す。2007年4月には医学部80校のうち26校が、また、附属病院83施設のうち39施設が敷地内禁煙になることが分かった。この内容を第16回日本禁煙推進医師歯科医師連名総会（2007年2月、京都）において発表したときのスライドを**資料９**に示す。医学部と附属病院の敷地内禁煙を最初に導入したのは秋田大学医学部（2003年7月）であり、その後、徐々に増加し、ニコチン依存症管理料が医療保険の給付対象となった2006年6月以降に急速に増加している傾向が認められた。

表３．医学部・附属病院における敷地内禁煙

	医学部	附属病院
・敷地内禁煙を導入済み：	23 校	37 施設
・敷地内禁煙の日時が決定：	4 校	6 施設
・検討中だが日時は未定：	24 校	29 施設
・禁煙化について未検討：	29 校	12 施設

（注：アンケート調査以降にも医学部・附属病院で敷地内禁煙が実施されており、可能な限りその変化を反映させている。2007年3月に「未検討」の大学・施設を中心に状況の再確認を行った。ホームページは順次更新しており、最新の情報はホームページをご覧頂きたい）

４）歯学部と附属病院の敷地内禁煙導入状況

2007年1月時点における敷地内禁煙の導入状況を表４に示す。2007年4月には歯学部29校、31キャ

ンパスのうち敷地内禁煙を導入済み4校、その導入日時が決定しているのは2校であった。また、附属病院32施設のうち敷地内禁煙を導入済み11施設、その導入日時が決定しているのは2施設であった（**資料10、11**）。この内容を禁煙推進学術ネットワークにおいて発表したときのスライドを**資料12**に示す。歯学部とその附属病院においても2006年6月以降に急速に敷地内禁煙が増加している傾向が認められた。

表４．歯学部・附属病院における敷地内禁煙

	歯学部	附属病院
・敷地内禁煙を導入済み：	3 校	12 施設
・06 年度内に禁煙化決定：	2 校	2 施設
・検討中だが日時は未定：	21 校	16 施設
・禁煙化について未検討：	5 校	2 施設

（注：アンケート調査以降にも歯学部・附属病院で敷地内禁煙が実施されており、可能な限りその変化を反映させている。2007年3月に「未検討」の大学・施設を中心に状況の再確認を行った。ホームページは順次更新しており、最新の情報はホームページをご覧頂きたい）

４）ホテル

平成18年度は秋田県全域で規模が50室以上の63ホテルについて調査をおこなったところ、合計6721室における禁煙ルームは1300室であり、その割合は19.3％であった。

平成17年度におこなわれた４市の一定規模以上のホテルの禁煙ルームの割合（京都市で22％、福岡市で21％、北九州市で17％、福島市で20％）と比較して、大きな差は認めなかった。

ホテルに付属する飲食店については、平成18年度は受動喫煙対策の評価方法の基準を明らかにするホームページの作成を行い、現在、作業を進めているところである。

D．考察

平成17、18年度における鉄道、野球場、医・歯学部および附属病院における調査から、調査対象となった施設の受動喫煙対策は急速に進みつつあることが確認できた。

特に、JR６社に対しては、本研究結果に基づき、11の医学会で組織される禁煙推進学術ネットワークから新幹線と在来線特急の全車両の禁煙化を求める要望書が３回にわたり提出されている。要望書には、全列車の立ち入り調査による禁煙化率、デッキの灰皿・喫煙室の写真が添付されており、各社にインパクトを与えたものと考えられる。

今回の調査以前から全車両禁煙であった九州新幹線、長野新幹線に加え、上越新幹線と東北新幹線が禁煙となった。運行会社では、JR北海道、JR東日本で寝台車を除く全車両が禁煙化され、JR九州、JR東海、JR西日本でも大幅な禁煙化率の改善が認められている。JRの変化に追随して、2007年3月には関東の私鉄のほとんどが禁煙化された。その一方で、関西の私鉄では受動喫煙が遅れている実態も明らかとなった。

今後、現時点で最も多くの喫煙車両を運行している東海・山陽新幹線、JR６社の中で禁煙化率が最も低調なJR四国、関西の私鉄各社に対して11医学会を通じて重点的に働きかけていく予定である。また、喫煙車両の数は減少したが、全車両の禁煙化には至っていないJR九州、JR東海、JR西日本にも引き続き全車両の禁煙化を求めていく予定である。

代表的な大型遊戯施設である野球場においても、建物内禁煙を導入する動きが平成18年度の調査で確認できた。平成19年度は受動喫煙対策が不十分な施設に対して、優良な施設の事例を呈示しながら、施設管理者への啓発を行う予定である。

医・歯学部でも敷地内禁煙を導入、もしくは、検討を始めている施設が多い、という実態が明らかとなった。これらの施設は医師や看護師の養成機関であるとともに、地域の拠点となる医療期間であり、先進的な対策である敷地内禁煙を導入することで社会に与えるインパクトは大きい。

本調査は、11の医学会の構成メンバーである日本呼吸器学会、日本循環器学会との共同調査である。平成19年度は、医・歯学部における調査結果を各大学・施設へ個別にフィードバックするだけでなく、禁煙推進学術ネットワークから全国医学部長会議、病院長会議などにも資料を提供して啓発を進めていく予定である。

また、日本医療評価機構が実施する病院機能評価（ver.5）で除外規定されている精神科病棟についても、敷地内禁煙を導入している附属病院では一般病棟と同様に禁煙化が実施されていることも分かったことは、本調査における特記すべき成果の一つであろう。

ホテルの調査では禁煙ルームの割合は、都市間のばらつきは小さく、禁煙ルームの割合は20％前

後であることがわかった（**資料14**）。

平成18年度に行ったホテルに付属する飲食店の受動喫煙対策の調査結果を基に、本研究班では飲食店等で実施し得る対策を、その効果が高い順番に５分類として提案している（**資料15**）。

1)全席禁煙

2)喫煙専用室（給仕なし）

3)物理的な隔離による空間分煙（給仕あり）
（喫煙席を壁、フロア、個室で分離）

4)禁煙タイムによる時間分煙

5)禁煙席と喫煙席の設定／対策なし

平成18年度は秋田県全域のホテル内の飲食店について、上記の診断基準に基づく、ベースライン調査を行った。平成19年度はその追跡調査を計画する予定である。

Ｅ．結論

わが国における受動喫煙対策は他の先進国の中では立ち遅れてはいるが、多くの公共施設、公共の交通機関で受動喫煙対策の改善が振興していることも明らかとなった。

実態調査の対象となった施設では、受動喫煙対策の自主改善に取り組む事例が多く観察されたことから、本研究のような調査を行うこと自体が有効な手段であることが示唆された。

平成18年度は、自主改善に取り組む施設の参考になる優良な対策事例を多くホームページで提示することができた。今後も、これまでの調査分野の事例を増やすとともに、新たな調査対象を増やしながら研究を継続していく予定である。

Ｆ．健康危険情報

この研究において、健康危険情報に該当するものはなかった。

Ｇ．研究発表

１．論文発表

1) Tanaka H, Yamato H, Tanaka T, Kadowaki T, Okamura T, Nakamura M, Okayama A, Ueshima H. Effectiveness of a low-intensity intra-worksite intervention on smoking cessation in Japanese employees : A three-year intervention trial. J Occup Health. ; 48 : 175-182, 2006.

2) Mizoue T, Fujino Y, Yamato H, Tokunaga S, Kubo T, Reijura K, : Overtime Work, Cigarette Consumption and Addiction to Cigarette among Workers Subject to Mild Smoking Restrictions . Industrial Health. (44) : 244 -249, 2006

3) Shimizu Y, Maeda A, Mizoue T, Nakamura M, Oshima A, Ogami A, Yamato H : Questionnaire survey and environmental measurements that led to smooth implementation of smoking control measures in workplaces. J Occup Health 47 : 450-453, 2005.

4) 大和　浩、大神　明：職場の喫煙対策．産業衛生技術入門，日本産業衛生学会 産業衛生技術部会編，中央労働災害防止協会：179-184，2005.

5) 大和　浩：職域での総合的喫煙対策：産業医の役割．全臨床医必携　禁煙外来マニュアル，中村正和，田中善紹編著，日経メディカル開発：102-109，2005

6) 大和　浩：煙が漏れない喫煙場所をつくる．健康教育・健康管理のレシピ，神田晃，谷原真一，亀田高志編著，南山堂：34-37 頁，2005.

7) 大和　浩：動脈硬化症の危険因子とそのコントロール 喫煙．中島康秀，太崎博美（編著），永井書店，244-252，2006.

8) Yamato H, et al. A novel local ventilation system to reduce the levels of formaldehyde exposure during a gross anatomy dissection course and its evaluation using real-time monitoring. J Occup Health 47 : 450-453, 2005.

２．学会発表

1) 大和　浩： JR６社の在来線特急（寝台・夜行を含む）における受動喫煙．第 16 回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会禁煙医師連盟学術総会，2007 年 2 月，京都.

2) 大和　浩： 喫煙をめぐる保健医療の話題-地域と職域の喫煙対策-．第 24 回産業医科大学学会総会，2006 年 10 月，北九州.

3) 蓑原里奈，齋藤恒祐，瀧上知恵子，江口将史，尾前知代，太田雅規，大和　浩： 全国の医学部における敷地内禁煙の導入状況および今後の方針に関する調査．第 24 回産業医科大学学会総会， 2006 年 10 月，北九州.

4) 本多　融，瀧上知恵子，江口将史，永渕祥大，尾前知代，太田雅規，大和　浩： JR 新幹線、在来線特急における受動喫煙の実態およびその改善状況に関する調査．第 24 回産業医科大学学会総会，2006 年 10 月，北九州.

5) 中田ゆり，大和　浩，金子教宏： 家庭内、自家用車における受動喫煙被曝 浮遊粉じん調査の結果から．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006 年 10 月，富山.

6) 江口将史，瀧上知恵子，中田ゆり，太田雅規，大和　浩： プロ野球球場における受動喫煙対策の実態と曝露濃度の評価．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006 年 10 月，富山.

7) 大和　浩，中田ゆり，瀧上知恵子，江口将史，太田雅規，飯田真美： 新幹線、JR 在来線特急の禁煙車両における受動喫煙の曝露濃度とその原因．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006 年 10 月，富山.

8) 太田雅規，瀧上知恵子，江口将史，中田ゆり，飯田真美，大和　浩： 新幹線各路線における受動喫煙曝露の実態調査と乗務員の曝露濃度の評価．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006 年 10 月，富山.

9) 瀧上知恵子，江口将史，中田ゆり，太田雅規，飯田真美，吉岡和晃，大和　浩： JR６社の在来線特急における受動喫煙曝露状況の比較検討．第 65 回日本公衆衛生学会総会，2006 年 10 月，富山.

10) 田中太一郎，岡村智教，門脇崇，大和　浩，田中英夫，田村右内，山縣然太朗，上島弘嗣： 禁煙が循環器疾患危険因子に及ぼす影響．第 17 回日本疫学学術総会，2006 年 10 月，広島.

11) Yamato H, Nagafuchi Y, Ogami A, Oyabu T, Hoshuyama T, Tanaka I. Effectiveness of comprehensive smoking control in workplaces. The 28th ICOH, Milan, Italy, 2006.
12) Iida M, Yamato H, Fujiwara H. Secondhand smoke in Japanese bullet Trains. 第70回日本循環器学会総会, 2006年3月, 名古屋.
13) Yamato H, Ogami A, Nagafuchi Y, Oyabu T, Tanaka I. Tobacco control in workplace and its effect on reducing smoking prevalence. The 25th International Symposium of UOEH, Japan. Kitakyushu, Japan, 2005.
14) Nakata Y, Yamato H, Ogami A, Wakai S. High level concentrations of environmental tobacco smoke (ETS) in restaurants, coffee shops, and taverns in Japan. The 25th International Symposium of UOEH, Japan. Kitakyushu, Japan, 2005.
15) Yamato H, Nagafuchi Y, Hoshuyama T, Ogami A, Nakata Y, Iida M, Fujiwara H, Tanaka I. Secondhand smoke in bullet trains and other public spaces in Japan. The 25th International Symposium of UOEH, Japan. Kitakyushu, Japan, 2005.
16) Yamato H, Ogami A, Nagafuchi Y, Kuroda K, Oyabu T, Morimoto Y, Tanaka I: Assessment of environmental tobacco smoke exposure in workplaces by real-time monitoring. The 10th International Conference on Occupational Respiratory Diseases, Peking, China, 2005.
17) 大和 浩, 永渕祥大, 大神 明, 中田ゆり, 田中勇武. 受動喫煙対策にかかわる社会環境整備に関する研究（第１報）－ ドーム球場における受動喫煙対策の実態調査. 第15回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 2006.
18) 永渕祥大, 大和 浩, 田中善紹, 栗岡成人, 吉積宏治, 田中勇武. 受動喫煙対策にかかわる社会環境整備に関する研究（第２報）－ 京都市内のホテルにおける受動喫煙対策の実態調査. 第15回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 2006.
19) 瀧上知恵子, 大和 浩, 永渕祥大, 黒崎 靖嘉, 秦 浩一, 吉積宏治, 田中善紹, 栗岡成人, 田中勇武. 受動喫煙対策にかかわる社会環境整備に関する研究（第３報）－ ホテルにおける受動喫煙対策の４都市間の比較調査. 第15回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 2006.
20) 吉積宏治, 大和 浩, 永渕祥大, 瀧上知恵子, 黒崎 靖嘉, 秦 浩一, 田中善紹, 栗岡成人, 田中勇武. 受動喫煙対策にかかわる社会環境整備に関する研究（第４報）－ ホテルの管理者むけ受動喫煙対策のセルフチェックシステムの開発. 第15回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 2006.
21) 永渕祥大、大和 浩、田中雅人、大神 明、黒田香織、大藪貴子、田中勇武：空気の流れに配慮した喫煙室の改善事例について. 第78回日本産業衛生学会総会, 2005.
22) 大和 浩、中田ゆり、永渕祥大、大神 明、飯田真美、藤原久義、田中勇武：新幹線、在来線特急の喫煙車両と禁煙車両におけるタバコ煙濃度の実態調査 第１回日本禁煙学会, 2005.
23) 中田ゆり、大和 浩、大神 明、若井 晋：小中飲食店の受動喫煙防止対策 全国実態調査 第１回日本禁煙学会, 2005.
24) 中田ゆり、大和 浩、大神 明：カラオケ、パチンコなど娯楽産業における受動喫煙曝露-タバコ煙粉じん濃度の測定調査-第78回日本産業衛生学会総会, 2005.
25) 中野修治、土肥誠太郎、堀江正知、後藤浩一、浜口伝博、広部一彦、古木勝也、大和 浩：職域における喫煙状況・喫煙対策に関する調査報告第78回日本産業衛生学会総会, 2005.
26) 大和 浩、大神 明、永渕祥大、溝上哲也、中村正和、大島 明、田中勇武、筒井保博、田中雅人、志水優子、柴岡三智、福満博子、落合秀夫、山村 謙、西 雅子：包括的な喫煙対策 第５報 受動喫煙対策の徹底と禁煙サポート１年後の結果 第78回日本産業衛生学会総会, 2005.
27) 中村正和、増居志津子、大和 浩、筒井保博、大島明：職域における喫煙対策の介入研究-介入４年間の成績の検討. 第78回日本産業衛生学会総会, 2005.
28) 寶珠山務, 大和浩, 高橋謙. 喫煙習慣が医療費に及ぼす影響：断面調査. 第78回日本産業衛生学会, 東京, 2005.
29) 寶珠山務, 大和浩, 高橋謙. 喫煙習慣が医療費に及ぼす影響（第２報）：疾患別の検討. 平成17年度日本産業衛生学会九州地方会, 北九州, 2005.

H. 知的財産権の出願・登録状況

この研究において、知的財産権に該当するものはなかった。

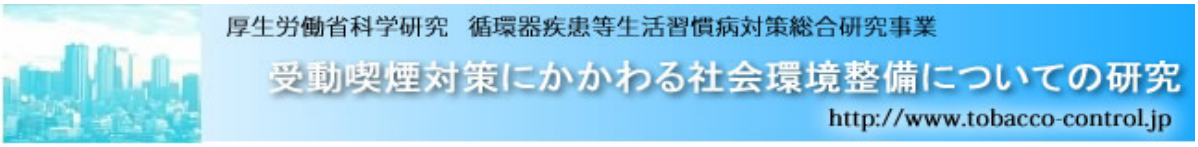
謝辞：

秋田県全域のホテルの調査は、秋田県健康福祉部健康推進課および保健所の協力を得て行われた。

医学部とその附属における調査は、日本呼吸器学会に設置された「喫煙問題に関する検討委員会」（委員長：永井厚志、東京女子医科大学病院 病院長）の援助を受け、共同調査として行われた。

歯学部とその附属病院における調査は11の医学会で組織される「禁煙推進学術ネットワーク」（日本心臓財団助成、委員長：藤原久義）の援助を受け、共同調査として行われた。全国の医・歯学部へのフィードバックのための増刷分の印刷と配送についても援助を受けた。

医・歯学部と野球場の調査は産業医科大学医学部３年生（斉藤奈津子、小笠原隆将、玉野井徹彦、林哲也）の協力を得た。



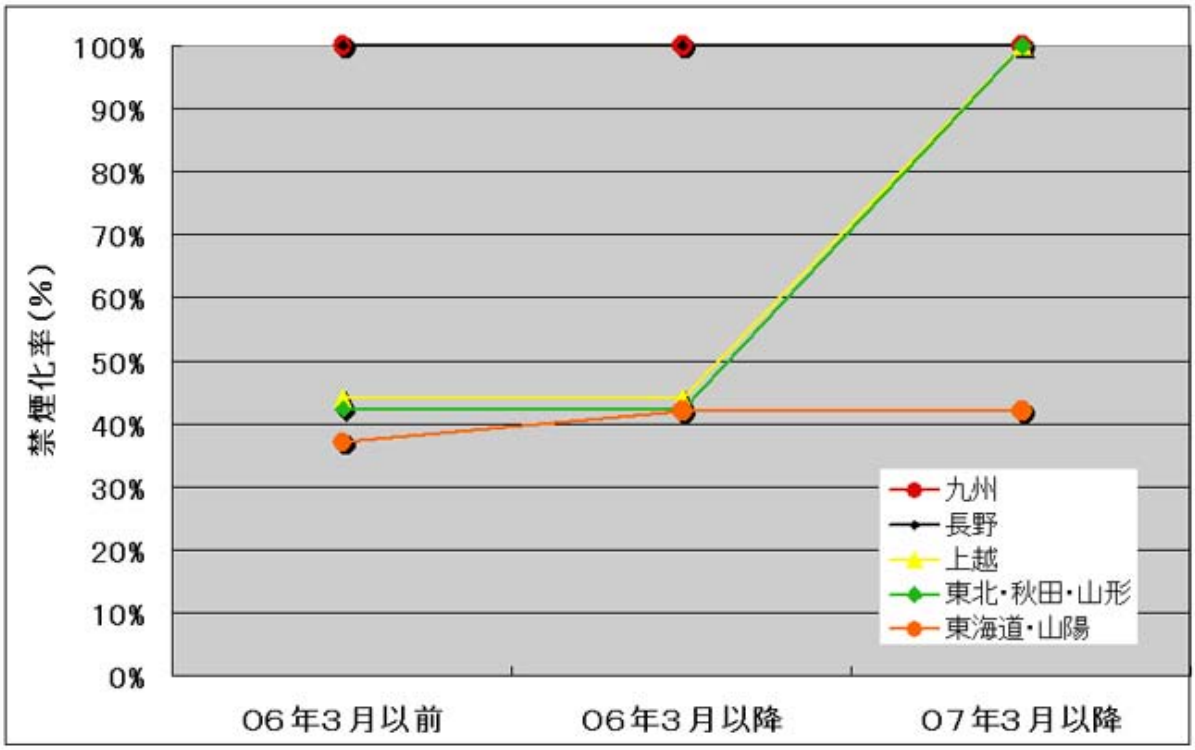
2007年3月18日修正

資料１－１

新幹線禁煙化率（=受動喫煙のない車両／全車両）

路線別清浄度	←1位：九州、2位：長野、3位：上越、4位：東北、5位：東海道・山陽
編成別清浄車両一覧	←安全な車両と受動喫煙車両の一覧
列車内の受動喫煙報告書 (0607train-passive-smk.pdf) 568KB	←厚生労働省に提出した車内の粉じん濃度測定の結果がダウンロードできます。

東海道・山陽新幹線の禁煙化率が42.2%と低迷している以外は100%禁煙化！



新幹線各路線別の禁煙化率（受動喫煙のない清浄な空気の車両の割合）を示します。
2004年 3月：九州新幹線「つばめ」は開業から全車両禁煙
2005年12月：長野新幹線「あさま」が全車両禁煙化
2006年　3月：東海道・山陽新幹線で16両編成の4号車が全車両禁煙化
2007年　3月：上越、東北・秋田・山形新幹線が全車両禁煙化
　　喫煙車両が走るのは東海道・山陽新幹線のみとなった

資料1－2

新幹線の禁煙率（＝受動喫煙のない車両／全車両）：路線別比較表

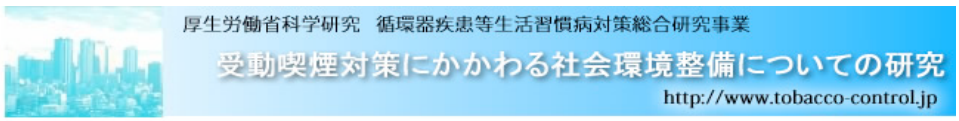
		運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車両数	路線別禁煙化率
九州新幹線	つばめ	70	6	6	420	420	100.0%
長野新幹線	あさま（8両）	57	8	8	456	456	100.0%
上越新幹線	MAXとき（16両）	3	16	16	48	48	
	MAXとき（12両）	16	12	12	192	192	
	MAXとき（8両）	22	8	8	176	176	
	とき（10両）	16	10	10	160	160	
	MAXたにがわ（16両）	13	16	16	208	208	
	MAXたにがわ（12両）	4	12	12	48	48	
	MAXたにがわ（8両）	8	8	8	64	64	
	たにがわ（10両）	14	10	10	140	140	
				路線合計	1036	1036	100.0%
東北新幹線	はやて	36	10	10	360	360	
	はやて5号	1	16	16	16	16	
	MAXやまびこ（16両）	3	16	16	48	48	
	MAXやまびこ（8両）	33	8	8	264	264	
	やまびこ（16両）	17	16	16	272	272	
	やまびこ（10両）	32	10	10	320	320	
	やまびこ（10両）	4	10	10	40	40	
	MAXなすの（16両）	1	16	16	16	16	
	なすの（16両）	16	16	16	256	256	
	なすの（15両）	4	15	15	60	60	
	MAXなすの（8両）	2	8	8	16	16	
	なすの（10両）	9	10	10	90	90	
秋田新幹線	こまち（6両）	32	6	6	192	192	
山形新幹線	つばさ（7両）	33	7	7	231	231	
				路線合計	2181	2181	100.0%
東海道・山陽新幹線	のぞみ、ひかり、こだま：16両編成	293	16	7	4688	2051	←16両編成
	レールスター：8両編成	50	8	2	400	100	←8両編成
	こだま:6両編成	47	6	2	282	94	←6両編成
	こだま:6両編成4両編成	55	4	2	220	110	←4両編成
				路線合計	5590	2355	42.1%

2006年3月18日ダイヤ改正での変更点
2007年3月18日ダイヤ改正での変更点

～新幹線禁煙化の流れ～

2004年 3月　　開業時より九州新幹線つばめは全車両禁煙
2005年12月　　長野新幹線あさまは全車両禁煙化
2006年 3月18日東海道･山陽新幹線のぞみ、ひかり、こだま16両編成の4号車が禁煙化された
2007年 3月18日東北新幹線と上越新幹線が全車両禁煙化された

2007年3月現在



資料２

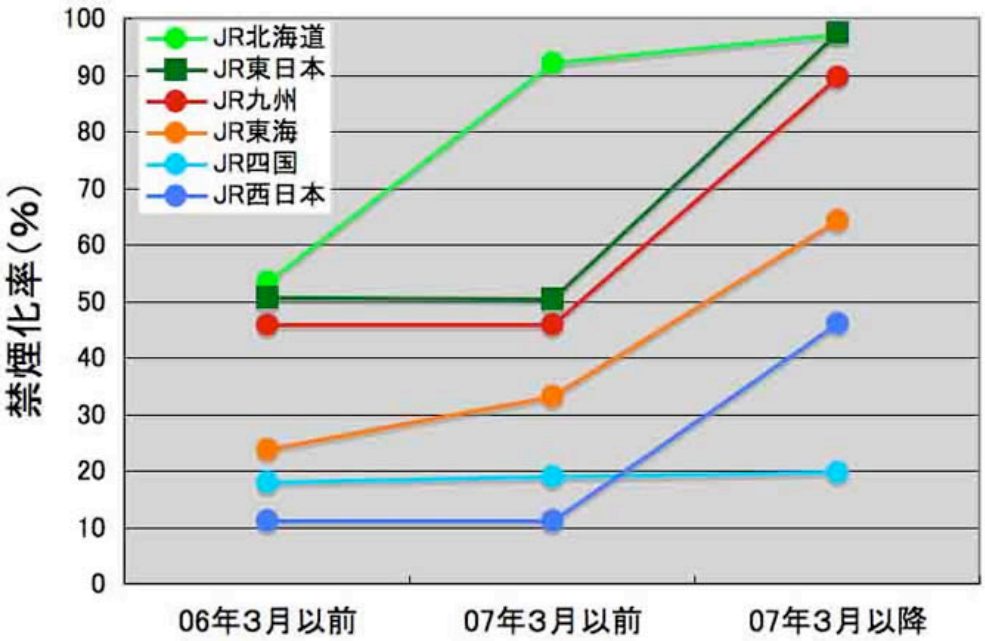
JR6社 在来線特急 禁煙化率

当初のランキング	会社名	受動喫煙ゼロ割合			会社名	現在のランキング
		06年3月まで	06年3月以降	07年3月以降		
１位	JR北海道	53.4%	92.1%	97.8%	JR東日本	１位
２位	JR東日本	50.6%	50.4%	97.3%	JR北海道	２位
３位	JR九州	45.7%	45.7%	89.6%	JR九州	３位
４位	JR東海	23.7%	33.1%	63.3%	JR東海	４位
５位	JR四国	17.9%	18.5%	47.2%	JR西日本	５位
６位	JR西日本	11.6%	11.6%	19.8%	JR四国	６位

特急報告書(0608express-selection.pdf) 848KB

注意：在来線特急に寝台特急を含めて修正（2007年1月10日更新）

特急調査の元データ(061227JR2)164KB



（JR四国はアンパンマン列車が禁煙化されるという情報を得て禁煙化率28%としていましたが、3月18日に立ち入り調査したところ、喫煙室以外の座席が禁煙化されるのは「南風」のみということが判明し19.8%に修正）

「受動喫煙がある車両」と判断した基準は以下の３つ：

１）喫煙車両に隣接する禁煙車両（JR東海、西日本、四国および九州のにちりんなど）

２）デッキに灰皿がある場合は、その両側の禁煙車両（例：スーパーまつかぜ、宇和海）

３）喫煙室がある禁煙車両は当該車両（例：しおかぜ、ゆふいんの森）

逆に、喫煙車両の隣であっても以下の場合は受動喫煙が発生しない基準：

１）デッキ接合部分にもドアがあり、客席が４枚のドアで隔てられている場合（例：寝台車）

トップへ戻る

JR在来線特急における受動喫煙対策の改善状況　資料3

1）JR北海道：スーパーおおぞらの喫煙コーナー廃止

2006年3月18日以前の喫煙コーナー
（2006年2月19日、吉岡和晃氏撮影）

2006年3月18日ダイヤ改正にて禁煙化
（2006年5月4日、吉岡和晃氏撮影）

2）JR西日本：スーパーいなばの喫煙コーナー廃止

2006年11月に撮影された喫煙コーナー

2007年3月18日ダイヤ改正にて禁煙化
（2007年3月25日撮影）

3）JR九州：有明の喫煙室は携帯電話室に転用

2007年3月18日のダイヤ改正により、喫煙室は携帯電話用のスペースとなった。
（2007年3月31日撮影）

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点
2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

ＪＲ北海道特急の編成表

列車名（車両愛称）	主な運転区間（左側が１号車）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
ライラック	旭川～札幌	EC781	100%	22	4	4	88	88	自	自	自	自・指							
スーパーホワイトアロー	旭川～札幌・新千歳空港	EC785	100%	34	5	5	170	170	自	自	自	指	自						
スーパー宗谷	稚内～札幌	DC261	100%	4	4	4	16	16	G・指	指	指	自							
サロベツ	稚内～札幌	DC183	100%	2	3	3	6	6	指	指	自								
スーパーおおぞら	釧路～札幌	DC283	100%	12	6	6	72	72	指	指	G	指	自	自					
スーパーとかち	帯広～札幌	DC283	100%	4	5	5	20	20	指	G	指	自	自						
とかち	帯広～札幌	DC183	100%	8	5	5	40	40	指	指	G	自	自						
すずらん	室蘭～札幌	EC781	100%	10	4	4	40	40	自	自	自	指・自							
スーパー北斗	函館～札幌	DC281	100%	10	7	7	70	70	指	指	G	指	指	自	自				
		DC283	100%	4	7	7	28	28	指	指	G	指	指	自	自				
北斗	函館～札幌	DC183	100%	8	5	5	40	40	指	指	G	自	自						
オホーツク	網走～札幌	DC183	100%	8	4	4	32	32	自	自・指	G・指	指							
スーパー白鳥	八戸～函館	EC789	100%	12	6	6	72	72	G・指	自	自	指	指	指					
つがる6号（東日本を走行）	八戸～青森	EC789	100%	1	6	6	6	6	G・指	自	自	指	指	指					
まりも	釧路～札幌	DC183+PC14	100%	2	5	5	10	10	指	B	B	指	自						
はまなす（夜行急行）	青森～札幌	PC14	100%	2	7	7	14	14	B	B	自	指	指	指	自				
北斗星1,2号（寝台）	上野～札幌	PC24	9%	2	11	1	22	2	B	B2	B2	B2	B1	B1・ロビー	食	A2	SA1・B1	SA1・B2	B
		運行総本数		145	車両総数		746	726											

禁煙化率 97.3%

スーパー北斗はDC281が10本、DC283が4本運行されている
北斗星３，４号は東日本の所属

禁煙化の動き
060318:北海道内の相互発着の特急は全車禁煙化
070318:本州との間を運行するスーパー白鳥、白鳥およびつがる６号が全車禁煙化

記号の説明	指＝指定席、自＝自由席、Ｇ＝グリーン車、Ｇ個=グリーン個室、Ａ＝Ａ寝台、Ａ１=1人用Ａ個室、Ａ２＝２人用Ａ個室、ＳＡ＝特Ａ個室、 Ｂ＝Ｂ寝台、Ｂ１=1人用Ｂ個室、Ｂ２＝２人用Ｂ個室、食＝食堂車、○・○＝合造車（車両の中で設備が異なる）、○/○＝二階建車 青字＝実際に確認した受動喫煙のない清浄な車両、赤字＝喫煙車両、煙＝喫煙コーナー、室＝喫煙室、黄字＝受動喫煙車両、 DC＝気動車、EC＝電車、PC＝客車

[　　] の列車は増結車（連結しない列車あり）

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点
2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

JR東日本特急の編成表

列車名（車両愛称）	主な運転区間（左側が１号車方）	車両形式	受動喫煙ゼロ	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
白鳥	八戸・青森～函館	EC485	100%	8	6	6	48	48	指	自	自	指	指	指・G									
つがる	八戸～青森・弘前	ECE751/EC485	100%	16	6	6	96	96	指	自	自	指	指	指・G									
いなほ	青森・秋田・酒田～新潟	EC485	100%	14	6	6	84	84	G・指	指	指	自	自	自									
北越	金沢～新潟	EC485	100%	10	6	6	60	60	G・指	指	指	自	自	自									
かもしか	秋田～青森	EC485	100%	6	3	3	18	18	G・自	自	指												
日光、きぬがわ	東武日光／鬼怒川温泉～新宿	EC485	100%	4	6	6	24	24	指	指	指	指	指	指									
ホームタウンとちぎ・おはようとちぎ	黒磯・宇都宮～新宿	EC185	100%	3	7	7	21	21	自	自	自	G	自	自	自								
スーパーひたち	上野～勝田・いわき・原ノ町・仙台	EC651	100%	25	11	11	275	275	指	指	指	G	指	自	自	自	自	指	指				
スーパーひたち	上野～いわき	EC651	100%	5	7	7	35	35	指	指	指	G	指	自	自								
スーパーひたち	いわき～仙台	EC651	100%	1	4	4	4	4								自	自	指	指				
フレッシュひたち	上野～勝田・高萩・いわき	ECE653	100%	7	14	14	98	98	指	指	指	指	自	自	自	自	自	自	自	指	指	指	
フレッシュひたち	上野～土浦・勝田・高萩・いわき	ECE653	100%	17	11	11	187	187	指	指	指	指	自	自	自	自	自	指	指				
フレッシュひたち	上野～土浦・勝田	EC651	100%	9	11	11	99	99	指	指	指	G	自	自	自	自	自	指	指				
フレッシュひたち	上野～勝田・高萩	ECE653	100%	8	7	7	56	56	指	指	指	指	自	自	自								
水上＋草津	上野～水上・万座鹿沢口	EC185	100%	6	14	14	84	84	自	自	自	指	指	G	指	自	自	自	指	指	G	指	
あかぎ＋草津、あかぎ（14両）	上野～前橋／長野原草津口・万座鹿沢口	EC185	100%	6	14	14	84	84	自	自	自	自	自	G	自	自	自	自	自	自	G	自	
（ウィークエンド）あかぎ	上野～高崎・新前橋・前橋	EC185	100%	5	7	7	35	35	自	自	自	自	自	G	自								
（ウィークエンド）あかぎ	前橋・高崎～新宿	EC185	100%	4	7	7	28	28	自	自	自	G	自	自	自								
草津白根	上野～万座鹿沢口	EC185	100%	1	7	7	7	7	指	指	指	指	指	G	指								
スーパーあずさ	新宿～松本・信濃大町	ECE351	100%	18	12	12	216	216	指	指	自	自	自	自	指	指	G	指	指	指			
あずさ	千葉・東京・新宿～松本・南小谷	ECE257	100%	10	11	11	110	110	指	指	自	自	自	指	指	指・G	指	指	指				
あずさ	新宿～松本	ECE257	100%	8	9	9	72	72			自	自	自	指	指	指・G	指	指	指				
かいじ	東京・新宿～甲府・竜王	ECE257	100%	22	9	9	198	198			自	自	自	自	指	指・G	指	指	指				
かいじ	東京・新宿～甲府	ECE257	100%	2	11	11	22	22	指	指	自	自	自	自	指	指・G	指	指	指				
成田エクスプレス	池袋・高尾・新宿・大船・横浜～成田空港	EC253	100%	18	12	12	216	216	指	指	指	指	指	G・G個	指	指	指	指	指	G・G個			
成田エクスプレス	大宮・池袋・新宿・大船・横浜～成田空港	EC253	100%	8	12	12	96	96	指	指	指	指	指	G・G個	指	指	指・G個	指	指	指・G個			
成田エクスプレス	大宮・池袋・新宿・大船・横浜～成田空港	EC253	100%	22	9	9	198	198	指	指	指	指	指	G・G個	指	指	指・G個						
わかしお、さざなみ	東京～安房鴨川／君津・館山	EC255	100%	5	9	9	45	45	自	自	指	G	指	自	自	自	自						
わかしお、さざなみ	東京～茂原／君津・館山	EC255	100%	4	9	9	36	36	自	自	自	G	自	自	自	自	自						
わかしお、さざなみ	東京～上総一ノ宮・勝浦・安房鴨川／館山	ECE257	100%	20	10	10	200	200	自	自	自	自	自	指	指	自	自	自					
わかしお、さざなみ	東京～上総一ノ宮・安房鴨川／館山	ECE257	100%	13	5	5	65	65	指	指	自	自	自										
わかしお、さざなみ、しおさい	東京～安房鴨川／館山／銚子	ECE257	100%	8	5	5	40	40	自	指	自	自	自										
しおさい	東京・新宿～成東・銚子	EC255	100%	10	9	5	90	50	自	自	自	G	指	自	自	自	自						
あやめ	東京～銚子・鹿島神宮	ECE257	100%	3	5	9	15	27	自	自	自	自	自										
しおさい、あやめ	東京～佐倉／成田	ECE257	100%	3	5	5	15	15	自	自	自	自	自										
しおさい＋あやめ	東京～成東・銚子	ECE257	100%	2	10	10	20	20	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自					
スーパービュー踊り子	伊豆急下田～東京・池袋・新宿	EC251	100%	12	10	10	120	120	G/サロン	G/G個	指	指	指・売店	指	指	指	指	指/こども					
踊り子	伊豆急下田・伊東・修善寺・熱海～東京	EC185	100%	4	12	12	48	48	指	指	指	G	自	自	自				自	自	指	指	指
踊り子	伊豆急下田・伊東・修善寺・熱海～東京	EC185	100%	6	15	15	90	90	指	指	指	G	G	指	指	自	自	自	自	自	指	指	指
踊り子	伊豆急下田～東京	EC185	100%	1	7	7	7	7	指	指	指	G	自	自	自								
ムーンライトえちご（夜行快速）	新宿～新潟	EC485	100%	2	6	6	12	12	G・指	指	指	指	指	指									
北斗星3,4号（寝台）	上野～札幌	PC24	36%	2	11	4	22	8	B	B	B	B	B	ロビー	食	A2	SA1・B1	SA1・B2	B				
カシオペア（寝台）	上野～札幌	PCE26	58%	1	12	7	12	7	SA2	SA2	食	A2/A2	A2/A2	A2/A2	A2/A2	A2/A2	A2/A2	A2/A2	A2/A2	ラウンジ			
あけぼの（寝台）	上野～青森	PC24	67%	2	12	8	24	16	ゴロンと	B	B	B	B1	B1	A1	ゴロンと	B	B	B	B			
北陸（寝台）	上野～金沢	PC14	38%	2	8	3	16	6	B	B1	A1	B1	B	B1	B	B							
日本海2,3号（寝台）	大阪～青森	PC24	67%	2	12	8	24	16	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A・室			

運行総本数 365　車両総数 3372　3299

禁煙化率 97.8%

北斗星１，２号はJR北海道所属・日本海１，４号はJR西日本所属

禁煙化の動き
060318:出雲を廃止
070318:寝台をのぞく全車禁煙化

資料4−2（JR東日本）

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点
2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

ＪＲ東海特急の編成表

列車名	主な運転区間（左側が１号車方）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
あさぎり	沼津～新宿	EC371	100%	8	7	7	56	56	指	指	G/指	G/指	指	指	指		
ふじかわ	甲府～静岡	EC373	100%	14	3	3	42	42	指	自	自						
伊那路	飯田～豊橋	EC373	100%	4	3	3	12	12	指	自	自						
しなの	長野～名古屋・大阪	EC383	50%	26	6	3	156	78	G	指	指	指	自	自			
ひだ	名古屋～高山・富山	DC85	71%	1	7	5	7	5	指	指・G	自	指	⑧指	⑨自	⑩G		
ひだ	大阪・名古屋～高山・飛騨古川	DC85	29%	4	7	2	28	8	指	自	指	~~通行可能~~	指	指・G	自	指	
ひだ	名古屋～高山・富山	DC85	67%	8	6	4	48	32	指	自	指	⑧指	⑨自	⑩G			
ひだ	名古屋～高山・飛騨古川	DC85	50%	9	4	2	36	18	指	指・G	自	指					
南紀	紀伊勝浦・新宮～名古屋	DC85	33%	8	3	1	24	8	指	自	指						
ムーンライトながら（夜行快速）	大垣～東京	EC373	100%	2	9	9	18	9	指	指	指	指	指	指	指	指	指
サンライズ出雲・瀬戸	出雲・高松～東京	EC285	79%	2	7	5.5	14	11	B1/B1	B1/B1	B1・サロン	A1A1/B2B2	指・B1	B1/B1	B1/B1		
		運行総本数		86	車両総数		441	279									

禁煙化率　63.3%

サンライズ出雲/瀬戸は東海と西日本の共同運行、①～⑦と⑧～⑭は同じであり７両ずつとして計算。
４，11号車は喫煙個室と禁煙個室のエアコンは独立しており、受動喫煙なしとして計算。

禁煙化の動き

060318：ひだ、しなの、南紀のデッキの灰皿が全て撤去

070318：しなの、６号車が禁煙化

東海は列車が廃止

あさぎり、ふじかわ、伊那路、ムーンライトながら：全車禁煙化

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点

2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

会社名	ＪＲ西日本 列車名	主な運転区間 （左側が１号車）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
ＪＲ西日本	はくたか	福井・金沢・和倉温泉～越後湯沢	EC681/EC683	33%	10	9	3	90	30	G	指	指	指	自	自	自	指	指			
	はくたか	金沢～越後湯沢	EC681/EC683	17%	2	6	1	12	2	G	指	指	指	自	自						
	しらさぎ	富山～米原・名古屋	EC683	18%	4	11	2	44	8	G・室	指	指	自	自	自	指	指	指	指	指	
	しらさぎ	富山・和倉温泉・金沢～名古屋	EC683	25%	12	8	2	96	24	G・室	指	指	自	自	自	指	指				
	しらさぎ	金沢～米原	EC683	40%	16	5	2	80	32	G・室	指	指	自	自							
	おはよう（おやすみ）エクスプレス	福井～金沢、福井～富山、金沢～七尾	EC681/EC683	100%	3	3	3	9	9	自	自	自									
	おはようエクスプレス	金沢～富山	EC683	100%	1	3	3	3	3	自	自	自									
	雷鳥	大阪～金沢	EC485	33%	20	9	3	180	60	G	指	指	指	自	自	自	指	指			
	サンダーバード	大阪～金沢・和倉温泉・富山・魚津	EC681/EC683	33%	30	9	3	270	90	G	指	指	指	自	自	自	指	指			
	びわこエクスプレス	大阪～米原	EC681/EC683	33%	1	9	3	9	3	G	指	指	指	自	自	自	指	指			
	はるか	京都～関西空港	EC281	100%	5	9	9	45	45	G	指	指	指	自	自	指	指	指			
	はるか	米原・草津・京都～関西空港	EC281	100%	55	6	6	330	330	G	指	指	指	自	自						
	くろしお	新宮・白浜・紀伊田辺～天王寺・新大阪・京都	EC381	11%	18	9	1	162	18	G	自	自	指	指	指	指	指	指			
	スーパーくろしお	新宮・白浜・和歌山～新大阪・京都	EC381	11%	12	9	1	108	12	G	自	自	指	指	指	指	指	指			
	オーシャンアロー	新宮～新大阪・京都	EC283	17%	6	6	1	36	6	G	自	自	指	指	指						
	きのさき／はしだて／たんば＋まいづる	城崎温泉／天橋立／福知山／東舞鶴～京都	EC183	100%	7	7	7	49	49	G	指	自	自	指	指	自					
	きのさき／文殊	城崎温泉～京都、天橋立～新大阪	EC183	100%	3	4	4	12	12	G	指	自	自								
	きのさき／はしだて／たんば／文殊	城崎温泉／天橋立／福知山～京都、天橋立～新大阪	EC183	100%	9	4	4	36	36	G・指	指	自	自								
	北近畿	城崎温泉・豊岡・福知山～新大阪	EC183	100%	9	7	7	63	63	G	指	自	自	指	指	自					
	北近畿	城崎温泉・福知山～新大阪	EC183	100%	12	4	4	48	48	G・指	指	自	自								
	北近畿	福知山～新大阪	EC183	100%	0	6	6	0	0	G・指	指	指	指	自	自						
	はまかぜ	鳥取・浜坂・香住～大阪	DC181	50%	6	4	2	24	12	指	G	自	自								
	スーパーいなば	岡山～鳥取	DC187	100%	12	2	2	24	24	指	自										
	やくも＊	出雲市～岡山	EC381	0%	22	6	0	132	0	指	指	指	G	自	自						
	やくも＊	出雲市～岡山	EC381	0%	8	6	0	48	0	G・煙	指	指	指	自	自						
	スーパーおき	新山口～米子・鳥取	DC187	0%	6	2	0	12	0	指	煙・自										
	スーパーまつかぜ	益田・米子～鳥取	DC187	0%	11	2	0	22	0	指	煙・自										
	銀河（寝台急行）	大阪～東京	PC24	63%	2	8	5	16	10	A ・室	B	B	B	B	B	B	B				
	能登（夜行急行）	上野～金沢	EC489	22%	2	9	2	18	4	指	指	指	G	自	自	自	自	自			
	きたぐに（夜行急行）	大阪～新潟	EC583	40%	2	10	4	20	8	自	自	自	自	B	G	A・室	B	B	B		
	トワイライトエクスプレス（寝台）	大阪～札幌	PC24	11%	2	9	2	18	4	SA2・SA1	SA2・SA1	食	サロン	B2・B1	B2・B1	B2	B	B			
	日本海1,4号（寝台）	大阪～青森	PC24	67%	2	12	8	24	16	A1	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
海・西	サンライズ出雲・瀬戸（寝台）	高松～東京	EC285	71%	2	7	5.5	14	11	B1/B1	B1/B1	B1・サロン	A1A1/B2B2	指・B1	B1/B1	B1/B1					

運行総本数　312　　車両総数　2054　　969

禁煙化率　47.2%

しらさぎの６、９号車は運転台部分が通り抜け可能であるため受動喫煙車両とした

サンライズ出雲/瀬戸は東海と西日本の共同運行、①～⑦と⑧～⑭は同じであり７両ずつとして計算。

４，11号車は喫煙個室と禁煙個室のエアコンは独立しており、受動喫煙なしとして計算。

禁煙化の進行

060318:スーパーやくもはすべてやくもに改称
070227:銀河を掲載
070318:喫煙コーナー使用停止：はるか、スーパーいなば
全車禁煙化：きのさき、はしだて、たんば、まいづる、文殊、北近畿、タンゴディスカバリー、タンゴエクスプローラー、おはよう（おやすみ）エクスプレス
サンダーバード、はくたか、雷鳥,の８号車が禁煙化
しらさぎの２号車が禁煙化
きたぐにの３号車が禁煙化
喫煙コーナー以外のデッキ灰皿は撤去
やくもは新型編成は４号車の喫煙室以外が全席禁煙化（2007年４月３日より新型車両の運行開始、順次増加のため計算には含めず）
トワイライトエクスプレスの４号車（サロンカー）と７号車（ミニサロン）が禁煙化

第三セクター特急の編成表

会社名	列車名（車両愛称）	主な運転区間（左側が１号車方）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
北越急行	はくたか	福井・金沢・和倉温泉～越後湯沢	EC681/EC683	33%	10	9	3	90	30	G	指	指	指	自	自	自	指	指
	はくたか	金沢～越後湯沢	EC681/EC683	17%	2	6	1	12	2	G	指	指	指	自	自			
北近畿タンゴ鉄道	タンゴディスカバリー1～4号	城崎温泉・豊岡・久美浜・東舞鶴～京都	DCKTR8000	100%	4	4	4	16	16	指	自			指	自			
	タンゴディスカバリー64号	城崎温泉～天橋立	DCKTR8000	100%	1	2	2	2	2	指	自							
	タンゴエクスプローラー1～4号	久美浜・宮津～新大阪	DCKTR001	100%	4	3	3	12	12	指	自	指						
智頭急行	スーパーはくと	倉吉・鳥取～京都	DCHOT7000	20%	14	5	1	70	14	自	自	指	指・G	指				

「はくたか」はJR西日本と北越急行の共同運用であり、運行会社の比率は５割ずつとして計算をおこなった

修正記録

070129:きたぐにの車両総数が10両を９両と誤記していた
070318:タンゴディスカバリー64号とタンゴエクスプローラーは使用車両を入れ替えた

資料4－4（JR西日本）

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点
2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

ＪＲ四国特急の編成表

列車名（車両愛称、ア：アンパンマン列車）	主な運転区間（左側が１号車方）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
しおかぜ＋いしづち（EC）	松山～高松・岡山	EC8000	50%	25	8	4	200	100	指	室・自	自	煙・自・煙	自	指	指	指・G
しおかぜ9, 21, 10, 22号ア＋いしづち13, 25, 10, 22号ア	宇和島・松山～高松・岡山	DC2000	0%	4	7	0	28	0	G・指	煙・指・煙	煙・自・煙	煙・自	指	指・自	自	
しおかぜ2号（EC）	伊予西条～岡山	EC8000	67%	1	3	2	3	2	指	自・室	自					
いしづち1, 34号（DC）	宇和島・松山～高松	DC2000	0%	2	4	0	8	0	指	自	自	自				
いしづち3, 32号（EC）	松山～高松	EC8000	50%	2	8	4	16	8	指	自・室	自	自	自	指	指	指・G
いしづち36号（EC）	松山～高松	EC8000	60%	1	5	3	5	3				自	自	指	指	指・G
いしづち4号（DC）	伊予西条～高松	DC2000	0%	1	5	0	5	0	自	自	自	自	自			
ミッドナイトEXP松山	松山～伊予西条	EC8000	33%	1	3	2	3	2	自	自・室	自					
ミッドナイトEXP高松	伊予西条～高松	DC2000	0%	1	5	0	5	0	自	自	自	自	自			
宇和海13本	宇和島～松山	DC2000	0%	13	4	0	52	0	指・煙＊	煙・自・煙	煙・自・煙	煙・自				
宇和海8本	宇和島～松山	DC2000	0%	8	3	0	24	0	指・煙＊	煙・自・煙	煙・自					
宇和海25号ア	宇和島～松山	DC2000	0%	1	3	0	3	0	指・煙＊	煙・自・煙	煙・自					
宇和海7, 17, 23, 4, 18, 24号ア	宇和島～松山	DC2000	0%	6	4	0	24	0	G・指・煙*	自	自	煙・自				
南風3号ア＋しまんと5号	宿毛・中村～岡山／高知～高松	DC2000	0%	1	5	2	5	2	G・指	指・自	室・自			指・自	自	
南風28号＋しまんと8号	宿毛・中村～岡山／高知～高松	DC2000	0%	1	5	0	5	0	G・指・煙*	煙・指・自・煙	自			指・自	自	
南風9, 8号＋しまんと7, 2号	高知～岡山・高松	DC2000	0%	2	5	0	10	0	指	煙・自・煙	自			指・自	自	
南風26号＋しまんと6号	中村～岡山／高知～高松	DC2000	0%	1	5	0	5	0	指・自	煙・自・煙			指	自	自	
南風25号ア＋しまんと9号	中村・高知～岡山・高松	DC2000	0%	1	6	2	6	2	G・指	指・自	室・自			指	自	自
南風20号＋しまんと4号	中村・高知～岡山・高松	DC2000	0%	1	6	0	6	0	G・指	煙・指・自・煙	自			指	自	自
南風2, 24号ア	宿毛・中村・高知～岡山／宿毛～高松	DC2000	0%	2	3	2	6	4	G・指	指・自	室・自					
南風12本／しまんと1, 10号	宿毛・中村・高知～岡山／宿毛～高松	DC2000	0%	14	3	0	42	0	G・指	煙・指・自・煙	自					
南風, 15, 27, 14号／しまんと3号	高知～岡山／高知～高松	DC2000	0%	4	3	0	12	0	指	煙・自・煙	自					
あしずり1号	中村～高知	DC2000	0%	1	3	0	3	0	指・自	煙・自・煙	自					
南風7, 23, 6, 22号ア＋うずしお9, 25, 6, 22号	宿毛・中村・高知・徳島～岡山	DC2000	0%	4	7	0	28	0	G・指	指	自	室・自		指	自	自
うずしお	徳島～高松	DC2000	0%	17	3	0	51	0	指	自	自					
うずしお3, 4号	徳島～高松	DC2000	0%	2	5	0	10	0	指・自	自	自	自	自			
うずしお5号	徳島～高松	DC2000	0%	1	3	0	3	0	指・自		自	自				
うずしお７本	徳島～高松	DC2000	0%	7	2	0	14	0	指・自	自						
うずしお32号／剣山5, 7, 8, 10号	徳島～高松／徳島～阿波池田	DC185	0%	5	2	0	10	0	指・自		自					
剣山11, 13, 2, 12号	徳島～穴吹・阿波池田	DC185	0%	4	3	0	12	0	自	自	自					
むろと1, 3, 2号／剣山1, 3, 9, 4, 6, 14号	海部・牟岐～徳島／甲浦・海部・牟岐・徳島～阿波池田	DC185	0%	9	2	0	18	0	指・自	自						
		運行総本数		143	車両総数		622	123								

禁煙化率 19.8%

060318以前： いしづち7, 9, 19, 21, 31, 33, 2, 6, 16, 18, 28, 30号の２号車には喫煙ルームあり。喫煙室のある車両は受動喫煙車両、かつ、３号車の喫煙車両の隣なので２号車は全て受動喫煙車両として計算。
060318： しおかぜ1号、いしづち9, 11, 15, 17, 21, 23, 27, 29, 33, 6, 8, 12, 14, 18, 20, 24, 26, 30号の２号車に喫煙室あり。３号車は禁煙であり、２号車はいずれにしろ受動喫煙車両。
06年６月頃、いしづちの３号車は禁煙化されたが、この表は060318時点の計算をおこなう。
060318： いしづち3, 32号は３号車が禁煙化されたが４号車（喫煙）の隣であるため喫煙車→受動喫煙車。２号車禁煙車両に喫煙室ができ、受動喫煙車であることは変わらず。
ミッドナイトEXP松山の３号車：喫煙→禁煙。２号車：禁煙車に喫煙室を作ったため受動喫煙車
070318： いしづち、しおかぜの全ての２号車に喫煙室を設置。３号車は禁煙車両となったが喫煙できる４号車の隣であり受動喫煙車両。
南風2, 24号は３号車を禁煙とし喫煙室設置。デッキの灰皿撤去で１，２号車は受動喫煙なし。
南風7, 23, 6, 22号は4号車を禁煙とし喫煙室設置。デッキの灰皿撤去で１，２、３号車は受動喫煙なし。
宇和海８本は４両編成ではなく、正しくは３両編成であり、過去の分も含め修正

2006年３月18日のダイヤ改正における変更点

2007年３月18日のダイヤ改正における変更点

ＪＲ九州特急の編成表

列車名（車両愛称）	主な運転区間（左側が１号車方）	車両形式	受動喫煙ゼロ割合	運行本数	編成車両総数	受動喫煙ゼロ車両	運行車両総数	受動喫煙ゼロ車数	編成（丸数字は号車番号） ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
リレーつばめ	新八代・熊本～博多・門司港	EC787	100%	6	11	11	66	66	G・G個	指	指	指	自	自	自・指	G・自	自	自	自			
リレーつばめ	新八代～熊本・博多・小倉	EC787	100%	58	7	7	406	406	G・G個	指	指	指	自	自	自・指							
有明	熊本～博多	EC787	100%	1	11	11	11	11	G・G個	指	自	指	自	自	自・指	G・自	自	自	自			
有明	熊本～博多	EC787	100%	1	8	8	8	8	G・指	指	自	自	G・自	自	自	自						
有明	熊本～博多	EC787	100%	6	7	7	42	42	G・G個	指	自	自	自	自	自・指							
有明	光の森・武蔵塚・水前寺・熊本～博多・小倉・門司港	EC787	100%	8	6	6	48	48	G・G個	指	自	自	自	自・指								
有明	光の森・肥後大津・水前寺・熊本～博多・小倉	EC787	100%	15	4	4	60	60	G・指	自	自	自										
かいおう	博多～直方	EC787	100%	2	6	6	12	12	G	自	自	自	自	自								
かいおう	博多～直方	EC787	100%	2	4	4	8	8	G・指	自	自	自										
きらめき	博多～門司港	EC783	100%	3	12	12	36	36	⑦G・自	⑧自・自	⑨自・自	⑩自・自	⑪G・自	⑫自・自	⑬自・自	⑭自・自	⑮G・自	⑯自・自	⑰自・自	⑱自・自		
きらめき	博多～門司港	EC787	100%	2	7	7	14	14	G・G個	自	自	自	自	自	自							
きらめき	博多～小倉	EC787	100%	1	6	6	6	6	G・G個	自	自	自	自	自								
きらめき	博多～小倉・門司港	EC787	100%	2	4	4	8	8	G・自	自	自	自										
ソニック	佐伯・大分・中津～博多	EC885	100%	22	6	6	132	132	G・指	指	指	自	自	自・指								
ソニック	大分・中津～博多	EC883	100%	24	7	7	168	168	G・指	指	指	自	自	自	自・指							
ソニック	大分～博多	EC883	100%	16	5	5	80	80	G・指	指・自	自	自	自・指									
にちりんシーガイア	宮崎空港～博多	EC783	50%	2	5	2.5	10	5	G・煙・指	指・自	自・自	自|自	自・煙・指									
にちりん	宮崎空港・南宮崎～別府・小倉	EC485	20%	8	5	1	40	8	G・指・煙	指	自	自	煙・自・指									
にちりん	宮崎空港・南宮崎～別府	EC783	50%	4	5	2.5	20	10	G・煙・指	指・自	自・自	自|自	自・煙・指									
にちりん	宮崎空港・南宮崎・大分～別府・中津	EC485	33%	14	3	1	42	14	指	自	煙・自・指											
ドリームにちりん	宮崎空港・南宮崎～博多	EC783	50%	1	5	2.5	5	2.5	G・煙・指	指・自	自・自	自|自	自・煙・指									
ひゅうが	宮崎空港～延岡	EC485	20%	2	5	1	10	2	G・自・煙	自	自	自	煙・自									
ひゅうが	宮崎空港・南宮崎～延岡	EC485	33%	2	3	1	6	2	自	自	煙・自											
きりしま	鹿児島中央～国分・宮崎	EC783	50%	10	5	2.5	50	25	G・煙・指	指・自	自・自	自|自	自・煙・指									
きりしま	鹿児島中央～国分・霧島神宮・宮崎	EC485	33%	18	3	1	54	18	指	自	煙・自・指											
はやとの風	鹿児島中央～吉松	DC140	100%	4	2	2	8	8	指	自												
九州横断特急	別府～熊本・人吉	DC185	50%	8	2	1	16	8	指・室	自												
くまがわ	人吉～熊本	DC185	50%	5	2	1	10	5	指・室	自												
ゆふいんの森	別府～博多	DC71	75%	2	4	3	8	6	指	指・Buf	指	室・指										
ゆふいんの森	由布院～博多	DC72	75%	4	4	3	16	12	指	指	Buf ・指	室・指										
ゆふDX	別府・大分～博多	DC183	75%	6	4	3	24	18	指	自・室	自	指										
ゆふ	別府・大分～博多	DC185	67%	6	3	2	18	12	指	指・自・室	自											
かもめ	長崎・肥前鹿島・佐賀～諫早・博多	EC885	100%	33	6	6	198	198	G・指	指	指	自	自	自・指								
かもめ202号	長崎～諫早	EC783	100%	1	4	4	4	4	G・自	自・自	自|自	自・自	自・自									
かもめ101, 103, 106, 108号	佐賀～博多	EC783	100%	4	4	4	16	16	G・指	自・自	自|自	自・自	自・自									
かもめ＋ハウステンボス＋みどり	長崎・ハウステンボス・佐世保～博多	EC783	100%	4	12	12	48	48	G・指	指・指	指|指	自・自	自・自		G・指	指・指	自|自	自・指	G・指	指・指	自|自	自・指
かもめ＋みどり	長崎・佐世保・早岐～博多	EC783	100%	5	12	12	60	60	G・指	指・指	指|指	自・自	自・自		G・指	指・指	自|自	自・指	G・指	指・指	自|自	自・指
かもめ＋みどり	長崎・佐世保～博多	EC783	100%	9	8	8	72	72	G・指	指・指	指|指	自・自	自・自						G・指	指・指	自|自	自・指
ハウステンボス＋みどり	ハウステンボス・佐世保～博多	EC783	100%	4	8	8	32	32							G・指	指・指	指|自	自・自	G・指	指・指	自|自	自・自
みどり	佐世保～博多	EC783	100%	8	8	8	64	64							G・指	指・指	指|自	自・自	G・指	指・指	自|自	自・自
みどり29, 4号	佐世保～博多	EC783	100%	2	5	5	10	10	⑪G・指	⑫指・指	⑬自|自	⑭自・自	⑮自・自									
はやぶさ＋富士（寝台）	熊本・大分～東京	PC14	50%	2	12	6	24	12	B	A1	B1	B	B	B	B	A1	B1	B	B	B		
なは＋あかつき（寝台）	熊本・長崎～京都	PC14	11%	2	10	3	20	6	B	B	B1	B2	B	A1	B1・B2	B1	B	指				

運行総本数　339　　車両総数　1990　1783

禁煙化率 89.6%

禁煙化の記録

070318:リレーつばめ、有明、かいおう、きらめき、ソニック、かもめ、みどり、ハウステンボスが全車両禁煙化

070318:九州横断特急、くまがわ、ゆふいんの森、ゆふDX,ゆふは喫煙室以外全席禁煙化

070318:かもめは４両編成が５両編成に変更

―車内設備のバリアフリー化と受動喫煙防止の関係がひと目でわかる―
私鉄有料特急列車の編成表（２００７年３月１８日現在）

©半沢一宣（禁無断転載）

資料５

会社名	列車名（車両愛称）	主な運転区間（左側が１号車方）	編成（丸数字は号車番号）①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	記事
東武鉄道	けごん、きぬ、ｽﾍﾟｰｼｱきぬがわ(ｽﾍﾟｰｼｱ)	東武日光・鬼怒川温泉～浅草・新宿	指w	指	指pKv	w指	指	w個						
	しもつけ	東武宇都宮～浅草	指vw	指	指p	wv指								
	きりふり、ゆのさと他	東武日光・南栗橋ほか～浅草	指vw	指	指vw	指	指p	wv指						注１
	りょうもう	赤城・太田・伊勢崎・葛生～浅草	指vw	指	指HvpB	指	指	wv指						
西武鉄道	ちちぶ、むさし(ﾚｯﾄﾞｱﾛｰ)	西武秩父・飯能～池袋	指HpvW	指	指	指	指	指	wv指					注２
	小江戸(ﾚｯﾄﾞｱﾛｰ)	西武新宿～本川越	指HpvW	指	指	指	指	指	wv指					
秩父鉄道	秩父路	羽生・熊谷～影森・三峰口	h自	自	自									注３
京成電鉄	スカイライナー	成田空港～上野	**指**	*指*	指	指HB	vp指	指	*指*	**指**				注４
	ﾓｰﾆﾝｸﾞﾗｲﾅｰ、ｲﾌﾞﾆﾝｸﾞﾗｲﾅｰ	成田空港・京成成田～上野	**定**	*定*	定	定HB	vp定	定	*定*	**定**				注５
京浜急行電鉄	ウイング	三崎口・久里浜～品川	h定	定	定	定	定	定	定	定h				注６
小田急電鉄	はこね(VSE)	箱根湯本・小田原～新宿	展指C	指	個KB	指	指	指	指	BKH指	指	C指展		
	はこね＋えのしま(EXE)	箱根湯本・片瀬江ノ島～新宿	指	指w	指pvK	指p	BH指	指	指	BH指	Kvp指	指		注７
	はこね、えのしま(HiSE)	箱根湯本・小田原～新宿	展指C	指	K指	pb指	指	指	指	指w	指K	指	C指展	
	はこね、えのしま(LSE)	箱根湯本・小田原～新宿	展指C	指	KpH指	b指	指	指	指	指w	指pK	指	C指展	
	あさぎり、はこね(RSE)	沼津・箱根湯本～新宿	指	指b	kpG指	G個pk	指	b指	指					注８
富士急行	フジサン特急	大月～河口湖	展ラ定	w自v個	自									注９
長野電鉄	湯けむり	湯田中・須坂～長野	展自C	自	自	C自展								
	（一般車特急）	湯田中・信州中野・須坂～長野	自	自	自									
富山地方鉄道	うなづき、アルペン	電鉄富山・立山～宇奈月温泉	自v	自	自									注10
	うなづき、アルペン、立山	電鉄富山・立山～宇奈月温泉	自	自	自	自								注11
伊豆急行	リゾート踊り子	伊豆急下田～東京	展指	*指S*	*wS指*	*S指*	KGw	*指S*	*HSH指*	指展				注12
	フルール踊り子、河津桜、ほか	伊豆急下田～東京	展指	*指S*	*wS指*	*S指*	*指S*	*HSH指*	指展					
名古屋鉄道	（パノラマSuper）	河和・内海～新鵜沼ほか	展指	v指C	w指v	指展	展指	v指C	w指v	指展				注13
	（パノラマSuper）	豊橋～岐阜	展指	指w	C自	自	自	自h	自	自				注14
	（パノラマSuper）	吉良吉田～名古屋～佐屋	指	指HBv	指	指	指HBv	指						注15
	（ミュースカイ）	中部国際空港～岐阜・新鵜沼	指	指HB	指	指	指	指HB	指	指				
	（　〃　）	中部国際空港～岐阜・豊橋	指	指HB	自	自	自	自h						注16
近畿日本鉄道（標準軌区間）	（アーバンライナー）	名古屋～難波	*GS*	*w指*	*vp指S*	*w指*	*指HB*	*S指*						注17
	（　〃　）	〃	*GS*	*w指*	*指S*	*w指*	*vp指S*	*w指*	*指HB*	*S指*				注17
	（伊勢志摩ライナー）	名古屋～賢島、賢島～京都・難波	**指p**	*BH指v*	指w	指K	個w	pG						注18
	（ビスタＥＸ）	〃	**指w**	*指*|指	指|指	w指k								注19
	（ＡＣＥ）	〃	**指w**	*指k*	指HW	p指								
	（　〃　）	〃	**指w**	*p指*										
	（一般車）	〃	**指w**	*指k*	指w	指								
	（一般車）	〃	**指w**	*指*										
	（一般車10両編成の例・１）	〃	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指*	**指w**	*指k*	指w	指		
	（一般車10両編成の例・２）	〃	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指*		
	（一般車８両編成の例・１）	〃	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指k*	指w	*指*				
	（一般車８両編成の例・２）	〃	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指*	**指w**	*指*				
	（一般車６両編成の例・１）	〃	**指w**	*指k*	指w	*指*	**指w**	*指*						
	（一般車６両編成の例・２）	〃	**指w**	*指*	**指w**	*指*	**指w**	*指*						
	（一般車４両編成の例・２）	〃	**指w**	*指*	**指w**	*指*								
近畿日本鉄道（狭軌区間）	（さくらライナー）	阿倍野橋～吉野	*指*	**w指p**	*k指w*	指	*指*	**w指p**	*k指w*	指				
	（ＡＣＥ）	〃	*指HW*	**指**										
	（一般車（ACEを含む）・８両編成）	〃	*指w*	**指**	*指w*	**指**	*指w*	**指**	*指w*	**指**				
	（一般車（ACEを含む）・６両編成）	〃	*指w*	**指**	*指w*	**指**	*指w*	**指**						
	（一般車（ACEを含む）・４両編成）	〃	*指w*	**指**	*指w*	**指**								
	（一般車（ACEを含む）・２両編成）	〃	*指w*	**指**										
南海電気鉄道	サザン	和歌山港・和歌山市～難波	p指	h指vK	**w指**	指	p指	h指vK	**w指**	指				注20
	〃	〃	p指	h指vK	**w指**	指	自	自	自	自				注21
	ラピート	関西空港～難波	指p	指	w指hvp	指	wG	pG						注22
	こうや、りんかん（31000系）	極楽橋・橋本～難波	**指**	vh指	w指p	指								注23
	こうや、りんかん（30000系）	〃	**指**	指	wkvp指	指								注23
	りんかん（11000系）	橋本～難波	**指**	h指pKv	w指	指								注23

記号の説明　細字＝受動喫煙が発生していない禁煙車、*斜字*＝受動喫煙が発生している禁煙車、*下線付きの斜字*＝喫煙コーナーがある禁煙車、**ゴシック体**＝喫煙車
灰色の網かけ＝増結車（連結しない列車があります）
薄黄色の網かけ＝２００６年１０月１日から２００７年３月１８日までの間に「受動喫煙が発生していない禁煙車」への変化があった車両
指＝指定席、自＝自由席、Ｇ＝グリーン車相当車両、展＝展望席、定＝定員制、個＝個室（セミコンパートメント等を含む）、Ｓ＝喫煙コーナー
Ｈ＝車いす対応座席、ｈ＝車いすスペース、Ｍ＝多目的室
Ｂ＝車いす対応トイレ（ベビーベッド有）、Ｗ＝車いす対応トイレ（ベビーベッド無）、
ｂ＝車いす非対応トイレ（ベビーベッド有）、ｗ＝車いす非対応トイレ（ベビーベッド無）
Ｐ＝テレホンカード式公衆電話（車いす対応）、ｐ＝テレホンカード式公衆電話（車いす非対応）
Ｖ＝飲料自動販売機（車いす対応）、ｖ＝飲料自動販売機（車いす非対応）、Ｋ＝売店、ｋ＝車内販売準備室、Ｃ＝車掌室
＊売店と車内販売は、一部の列車では営業を休止しています。
＊車内設備については、いずれも確認できた限り実際の位置関係を忠実に表記しました。

注１　夜行臨時列車「尾瀬夜行」「スノーパル」では⑥号車は女性専用車
注２　飯能～西武秩父間逆向き（飯能方が①号車）
注３　列車種別は急行
注４　船橋駅では、乗降口が下り列車では⑧号車、上り列車では②号車の各１ヶ所のみに限定されているため、乗降時に受動喫煙が発生している
注５　朝の上りと夕方の下りのみ運転
注６　平日の夕方～夜間の下りのみ運転。上大岡～三崎口間は特別料金不要の自由席
注７　編成分割時①～⑥号車が「はこね」、⑦～⑩号車が「えのしま」。「えのしま」は藤沢～片瀬江ノ島間逆向き（藤沢方が⑩号車）
注８　③④号車の２階はスーパーシート、④号車の１階はサルーンシート（セミコンパートメント）
注９　逆向きの編成もあり
注10　「アルペン」は季節列車、寺田～立山間逆向き
注11　「アルペン」は季節列車、寺田～立山間逆向き。「立山」は臨時列車
注12　⑤号車はロイヤルボックス（ＪＲ線内ではグリーン車扱い）
注13　④⑤号車間は非貫通
注14　⑥⑦号車間は非貫通
注15　２００８年度までに、一部特別車編成に変更予定
注16　金山～豊橋間逆向き（豊橋方が①号車）
注17　①号車はデラックスシート
注18　⑤号車はセミコンパートメント車、⑥号車はデラックスシート。④号車の売店は土曜・休日の伊勢志摩方面発着列車に限り営業
注19　②③号車（２階建て車両）の乗降口は車両中央にあり
注20　平日朝晩の通勤時間帯に運転。車両の連結部に自動ドアがありデッキが２区画に分けられているため、②④⑥⑧号車では受動喫煙は発生しないと考えられる
注21　平日の日中と土曜・休日に運転。車両の連結部に自動ドアがありデッキが２区画に分けられているため、②④号車では受動喫煙は発生しないと考えられる
注22　⑤⑥号車はスーパーシート
注23　31000系・30000系・11000系の中から２本を併結した８両編成で運転する列車あり。この場合④⑤号車間は非貫通
車両の連結部に自動ドアがありデッキが２区画に分けられているため、②⑥号車では受動喫煙は発生しないと考えられる

プロ野球球場における受動喫煙対策の改善状況

資料6

１）ナゴヤドーム
2005年9月に撮影した喫煙コーナー
2006年3月より完全分煙化。

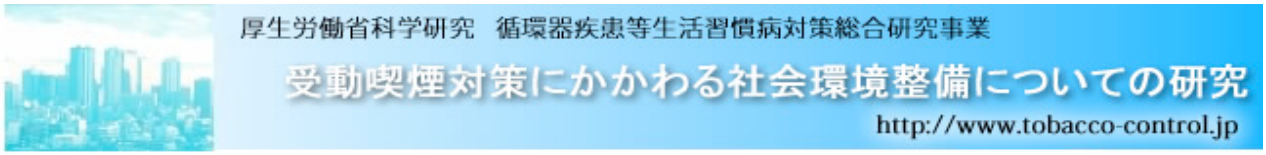
２）東京ドーム
2003年に撮影した喫煙コーナー
2007年3月より完全分煙化。

喫煙場所の縮小を知らせる掲示

２）京セラドーム（大阪ドーム）
2007年3月一部の喫煙コーナーが
喫煙室に改善。

屋外に作られた喫煙コーナー

京セラドームは従来通りの喫煙コーナーの方が数が多いため、観客の受動喫煙の軽減は少ない。



資料６

各球場に依頼状とアンケートを送付、以下の回答が得られました。07年3月30日現在
07年のシーズンより、千葉マリンスタジアムと東京ドームが建物内禁煙決定。
京セラドームも喫煙室の整備を開始。
球場担当者からの回答および利用者の情報をもとに研究班で下記の分類をしました。
建物内禁煙もしくは喫煙室で受動喫煙なし　→青
半閉鎖空間もしくは屋外の喫煙コーナー　→黄
閉鎖空間の喫煙コーナーで高濃度の受動喫煙→赤

球場名	回答/更新	評価	屋外で喫煙	喫煙室	喫煙コーナー	改善予定
東京ドーム	07/3/20	良好	○	○		07年に対策
阪神甲子園球場	06/8/18	要改善			○	検討中
神宮球場	06/9/4	良好	○			
広島市民球場	07/3/15	要改善	○注		○	
横浜スタジアム	06/8/18	要改善			○	検討中
ナゴヤドーム	06/9/1	良好	○	○	５階	06年に対策
札幌ドーム	06/8/18	良好		○		
千葉マリンスタジアム	07/1/31	良好	○			07年に対策
福岡ヤフージャパンドーム	06/8/18	良好	○			05年に対策
インボイスSEIBUドーム	06/9/6	要改善			○	現状維持
スカイマークスタジアム	06/9/31	要改善			○	現状維持
京セラドーム(大阪ドーム)	07/3/30	要改善		○	○	検討中
フルキャストスタジアム宮城	06/9/4	良好		○		
実態が上記と異なっている場合にはホームページの管理者（info@tobacco-control.jp）にご連絡下さい。また、その際には写真を添付していただけると参考になります。						

注1）広島球場：2006年の状況報告によれば、
スタンドの最上部に喫煙コーナーがあるため、風下となる外野立ち見席で受動喫煙あり。
球場外から球場内への通路にも喫煙コーナーがあるため受動喫煙あり。
内野の外周連絡通路にも喫煙所があるので、売店やトイレを利用する際に受動喫煙あり。
客席では喫煙禁止というレベル、という報告があり、黄色に分類し直しました。
注2）京セラドーム：2007年3月より、喫煙室の整備を開始。
ただし、人通りが多いフロアは従来通りの喫煙コーナーであり、分類は赤としました。

トップへ戻る

厚生労働省科学研究　循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究

http://www.tobacco-control.jp

資料７

全国の医学部における喫煙対策の実態調査依頼 (平成18 年８月18日調査票送付)
（各大学に問い合わせをしながら2007年4月1日の状況に更新中ですが、
残念ながら06年度内に全てを再確認できませんでした。
記載に誤りがあった場合にはすぐに修正いたします。連絡先：yamato@med.uoeh-u.ac.jp ）

呼吸器学会からの依頼文章はこのページの末尾にあります。2007年3月29日更新。
青色：既に敷地内禁煙を導入 23医学部
緑色：敷地内禁煙化を決定　4医学部
黄色：検討中（日時未定）　24医学部
赤色：未検討・分煙維持　29医学部
大学名のリンクは各大学のポリシーへ、状況欄のリンクは写真集へジャンプします。

喫煙場所に関する評価（良好：青、検討中：黄、改善の必要あり：赤）

北海道・東北		敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		新入生防煙	禁煙支援	喫煙率調査
	回答・最終確認日	状況	実施日	場所限定	歩きタバコ	共有空間	個室等			
北大・医	07/3/29	未検討		１カ所	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
札幌医大	07/3/29	検討中	未定	規定なし	規定なし	禁煙	禁煙	02年	職/学	職/学
旭川医大	06/8/28	禁煙	04/3/31	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	00年	×	学生
弘前・医	07/3/29	決定	07/10/1	禁煙予定	禁煙予定	禁煙	禁煙予定	×	×	職員
岩手医大	06/9/4	検討中	未定	規定なし	禁止	禁煙	規定なし	01年	×	学生
秋田・医	07/3/28	禁煙	03/7/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	職員	×
東北・医	06/9/1	禁煙	07/4/1	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	職/学	×
山形・医	07/3/28	検討中	未定	自主限定	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	過去
福島県医大	06/9/13	禁煙	06/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	06年	×	×
関東・甲信越		敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		新入生防煙	禁煙支援	喫煙率調査
	回答	状況	実施日	場所限定	歩きタバコ	共有空間	個室等			
自治医大	06/9/1	検討中	未定	限定	看護学部のみ	禁煙	禁煙	02年	×	×
獨協医大	06/9/19	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	02年	×	×
筑波・医	06/9/1	未検討		規定なし	規定なし	喫煙室	禁煙	×	×	×
群馬・医	07/3/28	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
埼玉医大	06/8/31	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	01年	職/学	職/学
防衛医大	06/9/19	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	職/学
千葉・医	07/3/29	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	○	×	○
東京・医	07/4/2	未検討		規定なし	規定なし	禁煙	規定なし	×	×	×
東京医歯大	07/1/27	禁煙	06/9/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
杏林・医	06/9/1	検討中	未定	庭園部分	禁止	禁煙	禁煙	×	×	職/学
慶応・医	07/1/27	禁煙	06/12/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	職/学	×
順天堂・医	07/1/27	禁煙	06/8/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	○	職/学	職/学
昭和・医	06/8/31	検討中		限定	禁止	食堂の一部	禁煙	03年	×	×
帝京・医	07/3/28	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	00年	×	×
東京医科大	06/9/4	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	05年	×	×
慈恵医大	07/3/28	検討済		限定	禁止	禁煙	喫煙室	×	×	×
東京女子医	07/1/27	禁煙	06/6/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	?	職/学	×
東邦・医	07/3/26	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	00年	×	02年
日本大・医	06/8/31	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
日本医科大	07/1/27	未検討		禁煙	禁止	喫煙室１	禁煙	○	×	×
横浜市・医	06/9/6	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	○	×	×
北里・医	07/3/28	未検討		１カ所	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
東海・医	07/4/2	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	職/学
聖マリ医大	06/9/4	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
新潟・医	06/8/31	未検討		規定なし	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
山梨・医	07/3/29	検討	分煙維持	限定	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
信州・医	06/8/31	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×

西日本

北陸・東海	回答・最終確認日	敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		新入生防煙	禁煙支援	喫煙率調査
		状況	実施日	場所限定	歩きタバコ	共有空間	個室等			
富山・医	07/3/28	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	05年	職/学	職/学
金沢大・医	06/8/31	禁煙	04/1/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	04年	×	×
金沢医科大	06/9/4	禁煙	04/6/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	02年	職/学	職/学
福井・医	07/3/28	未検討		限定	禁止	喫煙室３カ所	禁煙	×	職/学	職/学
岐阜・医	06/9/1	禁煙	05/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	○	学生	職/学
浜松医大	07/4/3	検討中	未定	喫煙室	禁止	禁煙	禁煙	86年	学生	学生
名古屋大・医	07/3/28	決定	07/3/31	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
名市大・医	06/8/23	禁煙	06/6/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
愛知医大	06/9/1	禁煙	05/1/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	学生	学生
藤田保・医	07/3/28	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	05年	職/学	職/学
三重・医	07/3/29	禁煙	06/5/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
関西		敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		防煙	禁煙支援	喫煙率調査
	回答	導入	実施日	場所	歩きタバコ	共有空間	個室等			
滋賀医大	06/10/5	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	02年	職/学	×
京都・医	07/3/29	未検討		限定	規定なし	禁煙	規定なし	×	×	×
京都府医大	06/9/20	検討中	未定	１箇所	禁止	禁煙	禁煙	△	×	×
大阪大・医	07/3/30	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
大阪市・医	07/3/30	未検討		限定	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
大阪医科大	06/9/4	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	職/学	×
関西医大	06/9/6	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	○	×	×
近畿大・医	06/9/4	禁煙	06/10/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	01年	×	×
神戸・医	07/3/28	未検討		なし	規定なし	禁煙	禁煙	02年	×	×
兵庫医大	06/8/24	禁煙	03/12/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	04年	学生	学生
奈良医大	06/8/28	未検討		限定	自主的禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
和歌山医大	06/8/28	禁煙	05/5/9	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	06年	×	×
中国・四国		敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		防煙	禁煙支援	喫煙率調査
	回答	状況	実施日	場所限定	歩きタバコ	共有空間	個室等			
鳥取・医	07/3/28	未検討		縮小中	規定なし	禁煙	禁煙	×	職員	×
島根・医	07/3/28	検討中	未定	限定	規定なし	禁煙	喫煙可	×	×	×
岡山・医	06/8/24	禁煙	04/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	実施	職/学	×
川崎医大	06/9/1	禁煙	05/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	02年	職/学	職/学
広島・医	06/8/25	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
山口・医	07/3/28	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	01年	職/学	職/学
徳島・医	07/3/29	決定	06/10/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
香川・医	07/3/26	決定	08/4/1	４箇所	禁止	禁煙	禁煙	02年	職/学	学生
愛媛・医	06/8/23	禁煙	06/6/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	06年	職/学	職員
高知・医	07/3/29	決定	08/10/1	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
九州・沖縄		敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		防煙	禁煙支援	喫煙率調査
	回答	状況	実施日	場所限定	歩きタバコ	共有空間	個室等			
九州・医	06/8/24	未検討		規定なし	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
福岡・医	06/8/24	禁煙	07/1/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	職	×
久留米・医	07/3/28	未検討		限定	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
産業医大	06/8/25	検討の上	屋外喫煙	５カ所	禁止	禁煙	禁煙	03年	職/学	職/学
佐賀・医	06/9/1	検討中	未定	限定	規定なし	禁煙	禁煙	05年	職/学	職/学
長崎・医	07/3/28	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
熊本・医	07/3/29	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
大分・医	07/3/30	禁煙	07/1/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	96年	学生	×
宮崎・医	06/9/4	検討中	未定	規定なし	規定なし	禁煙	禁煙	×	職/学	×
鹿児島・医	06/8/29	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	03年	×	×
琉球・医	06/8/24	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	職

「・」は総合大学の医学部を意味します。大阪・医＝大阪大学医学部、大阪医＝大阪医科大学

（回答と公開内容が異なる場合にはご連絡下さい）

タバコを販売していると回答した大学(2006年9月時点)：自治医*、防衛医、日大、昭和、横浜市立、東海*、山梨、浜松医*、京都*、香川*、長崎*、宮崎、琉球（*：2007年4月以降もタバコ販売をしていることが確認できた施設）

以下は、本調査の依頼状です。

日本呼吸器学会　喫煙に関する検討委員会　委員長、東京女子医科大学病院長　永井　厚志

各大学 医学部長殿または学長殿（単科大学の場合）
貴医学部におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
　日本医師会、日本看護協会をはじめ多くの保健医療団体が禁煙宣言を発し、
医療従事者の禁煙と医学教育における喫煙防止教育の重要性が注目されております。
　病院機能評価(ver.5)により医療施設における全館禁煙は常識となりました。
さらに、今年６月のニコチン依存症の治療が保険診療となったことで、その必要条件である
敷地内禁煙を実施する医療施設も増えつつあります。
　日本呼吸器学会では1997年に禁煙勧告をおこない、2002年に禁煙宣言を発し、
学会全体として喫煙問題に積極的に取り組んできました。
喫煙関連疾患による国民の健康障害を防止するために、また、医療従事者自身の禁煙を
促すためにも医学部とその附属病院が敷地内禁煙であることが重要であると考えております。
　すでに、岐阜大学（全学部）、秋田大学医学部、東京女子医科大学など約10の医学部において
敷地内禁煙が実施されております。しかし、全国の医学部および附属病院の敷地内禁煙の
導入状況に関する統一的な調査は行われておりません。
そこで、本学会が中心となり全国の（旧）国立、公立、私立の医学部および
その附属病院における敷地内禁煙の状況の実態調査を行うことになりました。
また、その結果はインターネット等で公表する予定ですので、
医学部長（学長）ご自身もしくは担当責任者からのご回答をお願いしたいと存じます。
　なお、この調査は厚生労働省科学研究　循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業の
一環としても実施されます（関連ホームページ　http://www.tobacco-control.jp/）。
設問内容に関して御不明な点は、下記連絡先にお願い致します。

事務局連絡先：〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室　大和 浩
電子メール：yamato@med.uoeh-u.ac.jp　電話：093-691-7473 、ファクシミリ：093-602-6395

調査票(40KB, quest-president.doc)のダウンロード。

締め切りを８月31日とし、９月13日に２回目のアンケートを郵送したため、一部の大学で行き違いが発生しました。ご容赦願います。

皆様からの写真による情報提供も歓迎しております。

・敷地内禁煙が宣言されている場合には、そのことを周知するポスターなど。

・敷地内で喫煙を許可／規制なしの場合は喫煙所の写真。サイズは500KB前後で十分です。

トップへ戻る

厚生労働省科学研究 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究
http://www.tobacco-control.jp

資料８

医学部附属病院84施設における喫煙対策の実態調査

（各大学に問い合わせをしながら2007年4月1日以降の状況に更新中ですが、
06年度内に全ての施設の状況を再確認できませんでした。
記載に誤りがあった場合にはすぐに修正いたします。連絡先：yamato@med.uoeh-u.ac.jp ）
2007年1月1日に福岡大学、大分大学が、2月1日に福井大学が敷地内禁煙実施。
4月1日に佐賀大学、香川大学の附属病院が敷地内禁煙化。

青：既に敷地内禁煙を実施　37施設（今回、精神科病棟の禁煙は問わない）
緑：敷地内禁煙を決定　6施設
黄：検討中（日時未定）　30施設
赤：未検討・分煙維持　11施設　（2007年4月3日更新）
喫煙場所に関する評価（良好：青、中間：黄、改善が望まれる：赤）
黄：屋外喫煙および精神科病棟の喫煙室
赤：一般病棟、職員の屋内屋外喫煙室および精神科病棟の喫煙コーナー

北海道・東北		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率調査
	回答	状況	実施日					
北大・医	07/3/29	敷地内禁煙	06/7/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
札幌医大	06/9/4	敷地内禁煙	06/4/1	禁煙	病棟内喫煙室	禁煙	○	×
旭川医大	06/8/28	敷地内禁煙	04/3/31	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
弘前・医	07/3/27	決定	07/10/1	禁煙	病棟内喫煙室	禁煙	×	×
岩手医大	06/9/6	検討中	未定	屋内に喫煙室	禁煙	屋内に喫煙室	○	×
秋田・医	07/3/28	敷地内禁煙	03/7/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
東北・医	06/9/6	敷地内禁煙	06/10/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
山形・医	07/3/28	検討中	未定	屋外	屋外	屋外	×	過去
福島県医	06/8/30	敷地内禁煙	05/5/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
関東・甲信越		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率調査
	回答	状況	実施日					
自治医大	07/3/30	検討中	未定	屋外場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	×	○
獨協医大	06/9/7	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外場所限定	屋外で場所限定	○	×
筑波・医	06/9/21	敷地内禁煙	04/2/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	×
群馬・医	07/3/28	未検討		屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	×
埼玉医大	06/8/31	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外に喫煙室	×	○
防衛医大	06/8/30	検討中	未定	屋内に喫煙室	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	×	○
千葉・医	06/10/4	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	○
東大・医	07/3/28	敷地内禁煙	06/1/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	×
東京医歯大	06/9/11	敷地内禁煙	06/9/1	禁煙	病棟内喫煙室	禁煙	○	×
杏林・医	07/3/28	決定	07/8/1	左記日程で	禁煙化予定	禁煙化予定	×	○
慶応・医	06/8/28	敷地内禁煙	06/12/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	○
順天堂・医	06/9/8	敷地内禁煙	06/8/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
順天堂・練馬	07/3/1	敷地内禁煙	05/7/1	開院以来禁煙	病棟なし	禁煙		
昭和・医	06/10/4	敷地内禁煙	04/4/1	禁煙	病棟なし	禁煙	○	×
帝京・医	06/9/27	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
東京医科大	06/8/30	検討中	未定	屋外の場所限定	病棟内喫煙室	屋外に喫煙室	○	×
慈恵医大	07/3/28	検討後、	屋外分煙	屋外の場所限定	病棟内喫煙室	屋外の場所限定	×	○
東京女子医	06/8/28	敷地内禁煙	06/6/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
東邦大・医	06/8/28	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	×
日本大:板橋	06/8/31	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
日本大:駿河台	06/8/31	未検討		屋上	病棟なし	屋外で場所限定		×
日本大:練馬	07/4/3	未検討		屋外で場所限定	病棟なし	屋外で場所限定		×
日本医科大	06/8/28	検討中	未定	屋外１カ所	屋外１カ所	禁煙	×	×
横浜市・医	06/8/28	未検討		屋外で場所限定	禁煙	屋外で場所限定	×	×

北里・医	06/10/12	未検討		屋外で場所限定	病棟なし	屋外で場所限定	×	×
東海大・医	06/9/1	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
聖マリ医	07/3/28	検討中	未定	屋外で場所限定	禁煙	屋外で場所限定	×	○
聖マリ:西部	07/3/28	敷地内禁煙	06/9/1	禁煙	病棟なし	禁煙		
新潟・医歯総合	07/3/28	敷地内禁煙	06/12/1	屋外で場所限定	?	禁煙	○	×
山梨・医	07/3/29	検討中	屋外分煙	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
信州・医	07/3/30	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×

西日本の医学部附属病院

北陸・東海		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率調査
	回答	状況	実施日					
富山・医	07/3/28	敷地内禁煙	06/9/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
金沢大・医	06/9/22	敷地内禁煙	03/9/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
金沢医科大	06/8/28	敷地内禁煙	04/6/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
福井・医	06/3/28	敷地内禁煙	07/2/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
岐阜・医	06/9/11	敷地内禁煙	04/6/1	禁煙	病棟内に喫煙室	禁煙	○	○
浜松医	06/10/4	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	?
名古屋大・医	06/9/24	決定	06年度内	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
名市大・医	06/9/4	敷地内禁煙	06/6/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
愛知医大	07/3/29	敷地内禁煙	05/1/1	屋外喫煙室	禁煙	禁煙	×	×
藤田・医	06/8/31	敷地内禁煙	05/9/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
三重・医	07/3/29	敷地内禁煙	06/5/1	禁煙	喫煙コーナー	禁煙	○	×
関西		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率
	回答	状況	実施日					
滋賀医大	06/10/5	敷地内禁煙	06/12/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	×
京都大・医	06/9/7	敷地内禁煙	06/4/1	禁煙	病棟内喫煙室	禁煙	○	×
京都府医	06/8/25	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	×	×
大阪大・医	07/3/30	検討中	未定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	○	×
大阪市立・医	07/3/30	敷地内禁煙	04/1/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	×
大阪医科大	06/8/31	検討中		屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
関西医大	06/9/8	未検討		屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	○
近畿・医	07/3/30	敷地内禁煙	06/10/1	禁煙	屋外で場所限定	禁煙	○	×
神戸・医	07/3/28	敷地内禁煙	04/2/1	禁煙	屋外で場所限定	禁煙	○	×
兵庫医大	06/9/1	禁煙を一旦	決定したが	屋外に灰皿１カ所	病棟内喫煙室	禁煙	×	×
奈良県医大医	06/9/22	分煙		屋外で場所限定	病棟内喫煙室	禁煙	×	×
和歌山県医大	06/9/25	禁煙	05/4/1	禁煙	禁煙	禁煙	×	×
中国・四国		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率
	回答	状況	実施日					
鳥取・医	07/3/28	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	×
島根・医	07/3/28	敷地内禁煙	07/4/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
岡山・医	07/3/29	禁煙化予定	08/4/1	屋外喫煙室	禁煙	禁煙	○	×
川崎医大	06/8/31	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	×
広島・医	06/10/4	検討中	06年度内	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	×	×
山口・医	07/3/28	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙ｺｰﾅｰ	屋外で場所限定	×	○
徳島・医	07/3/29	敷地内禁煙	07/1/1	禁煙	病棟内喫煙ｺｰﾅｰ	禁煙	×	×
香川・医	07/3/28	敷地内禁煙	07/4/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
愛媛・医	06/8/24	敷地内禁煙	06/6/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	○
高知・医	07/3/29	決定	08/10/1	屋外に喫煙室	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	×
九州・沖縄		敷地内禁煙		一般病棟	精神科病棟	職員	禁煙外来	喫煙率調査
	回答	状況	実施日					
九州・医	06/8/30	検討中	未定	屋外	病棟内喫煙ｺｰﾅｰ	屋外	○	×
		↑06年９月に屋内外の灰皿を撤去したが、敷地内禁煙とは宣言していない						
福岡・医	06/9/22	敷地内禁煙	07/1/1	禁煙	禁煙	禁煙	開設	○
久留米・医	07/3/28	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	指導	×
産業医	06/9/5	検討済	屋外分煙	１箇所	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	○

佐賀・医	07/3/29	敷地内禁煙	07/4/1	屋外で場所限定	屋外で場所限定	屋外で場所限定	○	○
長崎・医	07/3/28	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙ｺｰﾅｰ	屋外で場所限定	○	×
熊本・医	07/3/29	未検討		屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	×	○
大分・医	06/9/22	敷地内禁煙	07/1/1	禁煙	禁煙	禁煙	○	×
宮崎・医	06/9/4	検討中	未定	屋外	病棟内喫煙ｺｰﾅｰ	屋外	×	×
鹿児島・医	06/9/21	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	○
琉球・医	06/9/4	検討中	未定	屋外で場所限定	病棟内喫煙室	屋外で場所限定	○	○

タバコ販売をしている、と回答があった病院(2006年10月時点)：弘前*、防衛医*、東海*、久留米*、長崎*、宮崎、琉球
（*：07年4月以降もタバコ販売をしていることが確認できた大学病院。
弘前大学は2007年10月の敷地内禁煙と同時に販売中止予定）

自由コメント：
愛媛大学：精神科病棟の入院患者に禁煙をお願いしない姿勢こそ差別です。
私共の大学では精神科病棟もスムースに禁煙に移行しました。
市民から寄せられた情報：
兵庫医科大学は「敷地内禁煙」を標榜しているが「患者専用の屋外喫煙コーナー」がある。

以下、依頼文章です。

医学部附属病院における喫煙対策の実態調査依頼 平成18年８月18日

日本呼吸器学会　喫煙に関する検討委員会　委員長
東京女子医科大学病院長　永井　厚志

各大学医学部附属病院 病院長殿
貴医学部附属病院におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日本医師会、日本看護協会をはじめ多くの保健医療団体が禁煙宣言を発し、医療従事者の禁煙と医学教育における喫煙防止教育の重要性が注目されております。
病院機能評価(ver.5)により医療施設における全館禁煙は常識となりました。
さらに、今年６月のニコチン依存症の治療が保険診療となったことで、その必要条件である敷地内禁煙を実施する医療施設も増えつつあります。
日本呼吸器学会では1997年に禁煙勧告をおこない、2002年に禁煙宣言を発し、学会全体として喫煙問題に積極的に取り組んできました。
喫煙関連疾患による国民の健康障害を防止するために、また、医療従事者自身の禁煙を促すためにも医学部とその附属病院が敷地内禁煙であることが重要であると考えております。
すでに、岐阜大学（全学部）、秋田大学医学部、東京女子医科大学など約10の医学部において敷地内禁煙が実施されております。
しかし、全国の医学部および附属病院の敷地内禁煙導入状況に関する統一的な調査は行われておりません。
そこで、本学会が中心となり全国の（旧）国立、公立、私立の医学部およびその附属病院における敷地内禁煙の状況の実態調査を行うことになりました。
また、その結果はインターネット等で公表する予定ですので、病院長ご自身もしくは担当責任者からのご回答をお願いしたいと存じます。
なお、この調査は厚生労働省科学研究　循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業の一環としても実施されます（関連ホームページ　http://www.tobacco-control.jp/）。
設問内容に関して御不明な点は、下記連絡先にお願い致します。
事務局連絡先：
〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号 産業医科大学 産業生態科学研究所
健康開発科学研究室 教授　大和 浩　電子メール：yamato@med.uoeh-u.ac.jp
電話：093-691-7473（ダイヤルイン）、ファクシミリ：093-602-6395

調査票（48KB, quest-hospital.doc）のダウンロードはこちら。

トップへ戻る

資料９

全国の医学部・附属病院の敷地内禁煙の導入状況に関する調査

第16回禁煙推進医師歯科医師連盟総会
2007年2月　京都

産業医科大学 産業生態科学研究所
江口将史、
安藤 肇、斉藤奈津子、小笠原隆将、玉野井徹彦、林 哲也、瀧上知恵子、尾前知代、太田雅規、吉積宏治、大和 浩

【目的】

医学部の敷地内禁煙化 ＝ 喫煙しない医師を育成する為の重要な環境づくり

複数の医学部と大学病院で導入⇒しかし、全国的な統一した調査はおこなわれていない

日本呼吸器学会**「喫煙問題に関する検討委員会」**
（委員長 永井 厚志）　**および**
「受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究」
平成18年度 厚労科研**（主任研究者 大和 浩）**

敷地内禁煙化を実施している医学部・附属病院を把握

↓

対策が遅れている大学・施設の禁煙化を促す

【方法】

医学部 80校　：（学長・医学部長）
大学病院 83施設　：（病院長）

↓

2006年8月にアンケートを郵送（第1回）

↓

回答を得られなかった施設に
9月にアンケート再送（第2回）

↓

それでも得られなかった施設に対して
電話とファクシミリで督促

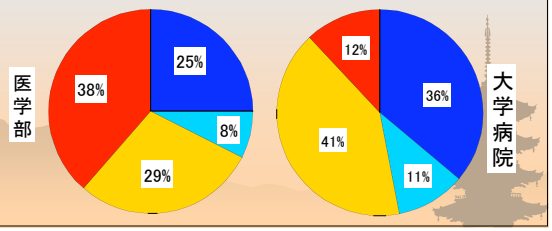
↓

回答率100%

【アンケート内容および結果①】

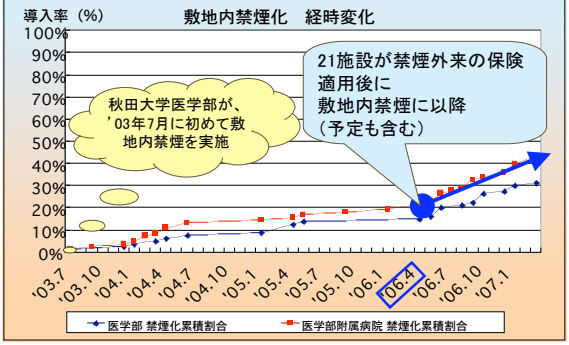
喫煙対策の予定について

	医学部	大学病院
敷地内禁煙を導入済み：	20校	30施設
’06年度内に禁煙化決定：	6校	9施設
検討中だが日時は未定：	23校	34施設
禁煙化について未検討：	31校	10施設



【アンケート内容および結果②】

敷地内禁煙実施日の推移

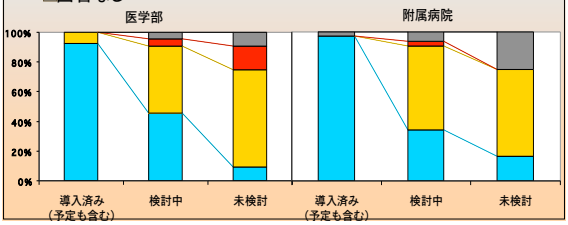


【アンケート内容および結果③】

回答者の敷地内禁煙化に対する意識

『全国の医学部や医療機関の敷地内禁煙化についてどのように考えるか』の問いに対して・・・

- 速やかに敷地内禁煙とするべき
- 将来は敷地内禁煙とするべきだが、現在は時期尚早
- 建物内を禁煙化する程度でよい
- 回答なし



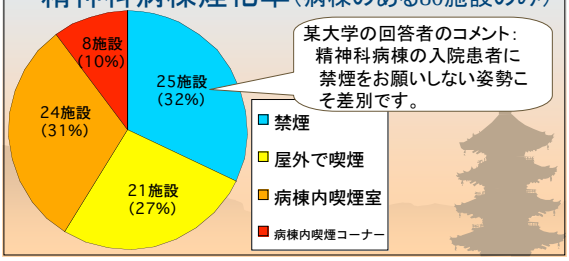
【アンケート内容および結果④】

禁煙外来の有無について

83施設中42施設に禁煙外来存在（50．6%）（保険診療の可否は問わず）

【アンケート内容および結果⑤】

精神科病棟煙化率（病棟のある80施設のみ）



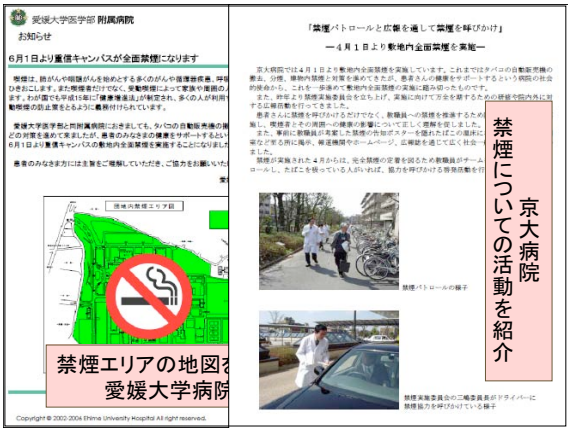
某大学の回答者のコメント：
精神科病棟の入院患者に
禁煙をお願いしない姿勢こ
そ差別です。

【考察】①

’06年度内に26医学部（32.5%）、 39大学病院（47.0%）で敷地内禁煙化が実施・決定されることが判明。

敷地内禁煙化「検討中」、「未検討」の医学部・大学病院では、担当者の意識を変えていく必要あり。

調査結果はインターネット上で公開。
（http://www.tobacco-control.jp/）



京大病院
禁煙についての活動を紹介

禁煙エリアの地図を
愛媛大学病院

【考察】②

本調査結果の活用方法としては・・・

＊受験生
＊患者団体
} 情報提供する等

本調査は、今後も医学部・附属病院の禁煙化の流れを追う為、継続して実施予定。

本報告が全国の医学部・大学病院の敷地内禁煙化に寄与することを期待している。

謝辞：この調査は日本呼吸器学会***「喫煙問題に関する検討委員会」***、
および、
平成18年度 厚労省科学研究（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）
「受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究」
により援助された。

厚生労働省科学研究　循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究

http://www.tobacco-control.jp

資料１０

全国29歯学部31キャンパスの敷地内禁煙状況

（各大学に問い合わせをしながら2007年4月1日の状況に更新中ですが、
06年度内に全ての大学の状況を再確認できませんでした。
記載に誤りがあった場合にはすぐに修正いたします。連絡先：yamato@med.uoeh-u.ac.jp ）

青：既に敷地内禁煙を導入　3校
緑：敷地内禁煙化が決定　2校
黄：検討中（日時未定）　21校
赤：未検討　5校　　2007年4月3日更新

			敷地内禁煙		屋外の喫煙		屋内の喫煙		新入生防煙教育開始	禁煙支援	喫煙率調査
	学校名	回答・確認日	状況	実施日	場所	歩きタバコ	共有空間	個室等			
1	北海道大・歯	07/3/28	検討中	未定	規定なし	禁止	禁煙	規定なし	1993	×	×
2	北海道医療・歯	06/10/23	敷地内禁煙	05/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	2005	×	×
3	岩手医・歯	06/10/19	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	喫煙室	○不明	×	○
4	東北・歯	06/11/01	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
5	奥羽・歯	07/3/30	未検討		限定	規定なし	禁煙	規定なし	×	×	×
6	明海・歯	07/4/2	検討中	未定	限定	禁煙	禁煙	禁煙	2002	学/職	×
7	東京医歯・歯	06/10/19	敷地内禁煙	06/9/1	禁煙	禁煙	禁煙	禁煙	×	×	×
8	昭和大・歯:旗の台	06/1/.23	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	規定なし	2003	×	×
8	昭和大・歯:洗足	06/10/23	検討中	未定	限定	規定なし	禁煙	規定なし	1998	×	×
8	昭和大・富士吉田	06/3/28	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	○不明	×	×
9	日本大学・歯学部	06/10/23	検討中	未定	限定	規定なし	?	?	2002	×	○
10	日本大学・松戸歯	06/10/26	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	○	×	×
11	東京歯科大	06/10/23	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
12	日本歯科大	06/10/30	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2001	×	○
13	日本歯科大・新潟	06/10/26	決定	07/4/1	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	○
14	神奈川歯大	06/12/04	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2000	×	×
15	鶴見大・歯	06/10/30	未検討		限定	規定なし	禁煙	禁煙	2001	学/職	○
16	新潟大・歯	07/3/30	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
17	松本歯科大	06/10/30	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2005	×	×
18	朝日大・歯	07/3/29	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
19	愛知学院・歯	06/1/.23	未検討		限定	規定なし	禁煙	禁煙	1989	×	○
20	大阪大・歯	06/12/04	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
21	大阪歯科大	06/3/28	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2004	×	×
22	岡山大・歯	06/10/19	敷地内禁煙	04/4/1	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	×	学/職	×
23	広島大・歯	06/10/19	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
24	徳島大・歯	07/3/29	検討中	未定	規定なし	規定なし	禁煙	禁煙	○	○	○
25	九州大・歯	06/10/23	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
26	九州歯科大	07/4/2	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
27	福岡歯科大	07/3/30	決定	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2005	学/職	○
28	長崎大・歯	06/3/30	検討中	未定	限定	規定なし	禁煙	禁煙	×	×	×
29	鹿児島大・歯	06/10/24	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2003	×	×

敷地内でタバコの販売をしている大学（2006年10月時点）：奥羽大、昭和大（旗の台）、鶴見大、長崎*
（*：2007年4月以降もタバコ販売をしていることが確認できた施設）

以下、本調査の依頼文章です。
平成18(2006)年10月16日

全国の歯学部における喫煙対策の実態調査依頼

禁煙推進学術ネットワーク委員長
社団法人　日本循環器学会 禁煙推進委員長
岐阜大学大学院医学研究科再生医科学循環・呼吸病態学　教授
藤原　久義

歯学部長殿、歯科大学学長殿

貴歯学部におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日本医師会、日本看護協会をはじめ多くの保健医療団体が禁煙宣言を発し、
医療従事者の禁煙と医学教育における喫煙防止教育の重要性が注目されております。
医科においては病院機能評価(ver.5)により医療施設の全館禁煙が求められ、
さらに、今年６月のニコチン依存症の治療が保険診療となるには敷地内禁煙が
必要条件となったことで医療施設の禁煙化が急速に進みつつあります。
2005年には日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本口腔衛生学会、
日本口腔外科学会をはじめ９つの医学会による禁煙ガイドラインが発表されました。
喫煙関連疾患による国民の健康障害を防止するために、
医科と歯科の協力が必要であると考えられます。
また、その環境づくりとして医・歯学部とその附属病院が
敷地内禁煙であることが重要であると考えております。
06年度におこなわれた調査では、80校の医学部のうちすでに19校で
敷地内禁煙が実施されており（さらに7校が06年度内の実施を決定）、
23附属病院がすでに敷地内禁煙となっておりました。
http://www.tobacco-control.jp/
今回、９学会合同「禁煙ガイドライン」研究班に日本歯周病学会と日本癌学会が加わった
禁煙推進学術ネットワークにより、全国の歯学部と附属病院の敷地内禁煙の
実施状況の調査を行うことになりました。
その結果はインターネット等で公表する予定ですので、
歯学部長／学長ご自身もしくは担当責任者からのご回答をお願いしたいと存じます
（歯学部長／学長と附属病院長には異なる内容のアンケートを送付しております）。
10月31日までに投函願います。

なお、この調査は厚生労働省科学研究（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）の一環
としても実施されています。
設問内容に関して御不明な点は、下記連絡先にお願い致します。

事務局連絡先：
〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
産業医科大学 産業生態科学研究所
健康開発科学研究室 教授　大和 浩
電子メール：yamato@med.uoeh-u.ac.jp
電話：093-691-7473（ダイヤルイン）
ファクシミリ：093-602-6395

トップへ戻る

厚生労働省科学研究 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究
http://www.tobacco-control.jp

資料１１

全国29歯学部附属病院32施設の敷地内禁煙調査　　2007年4月3日更新
（各施設に問い合わせをしながら2007年4月1日の状況に更新中ですが、
06年度内に全ての施設の状況を再確認できませんでした。
記載に誤りがあった場合にはすぐに修正いたします。連絡先：yamato@med.uoeh-u.ac.jp ）
施設名の色分けは下記のとおり
青：既に敷地内禁煙を導入　12施設
緑：06年度内の禁煙化を予定　2施設
黄：検討中だが日時未定　16施設
赤：未検討　2施設

喫煙場所に関しては良好：青、中間：黄、不適切：赤

			敷地内禁煙		患者の喫煙	職員の喫煙	屋外		禁煙外来
	歯学部附属病院	回答	状況	実施日			喫煙場所	歩きタバコ	
1	北大・歯科診療	06/11/6	敷地内禁煙	06/07/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	第一内科
2	北海道医療	06/10/30	敷地内禁煙	05/04/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	×
3	岩手医大・歯	06/10/23	検討中	未定	喫煙室	喫煙室	限定	禁止	×
4	東北・歯	06/10/30	敷地内禁煙	06/12/15	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	医学部附属病院
5	奥羽・歯	07/3/30	検討中	未定	喫煙室	喫煙室	限定	禁止	×
6	明海大学・歯	07/4/2	敷地内禁煙	06/4/1	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	内科
7	東京医歯大・歯	06/11/1	敷地内禁煙	06/09/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	×
8	昭和大学・歯	07/3/30	検討中	未定	屋外	喫煙室	限定	禁止	×
9	日本大学・歯	06/10/30	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	予防歯科
10	日本大学・松戸	06/10/19	未検討		屋外	屋外	限定	禁止	×
11-1	東京歯科大・水道橋	06/10/30	敷地内禁煙	05/03/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	内科
11-2	東京歯科大・市川総合	06/12/04	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
11-3	東京歯科大・千葉	07/3/28	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
12	日本歯科大学	07/3/28	敷地内禁煙	03/05/31	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	×
13	日本歯科大・新潟	06/10/19	決定	07/04/01	屋外	屋外	限定	禁止	×
14	神奈川歯大	06/10/23	敷地内禁煙	06/04/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	外科
15	鶴見大・歯	07/3/30	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	卒煙外来科
16	新潟大・医歯総合	06/10/30	敷地内禁煙	06/12/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	医学部担当
17	松本歯科	06/10/30	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
18-1	朝日大・歯	07/3/29	敷地内禁煙	02/07/01	=	=	=	=	休診中
18-2	朝日大・歯・村上	06/10/30	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
19	愛知学院大・歯	06/10/30	未検討	未定	屋外	屋外	限定	規定なし	×
20	大阪大・歯	07/3/29	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	口腔保健科
21	大阪歯科大	06/11/10	検討中	未定	喫煙室	喫煙室	禁煙	禁止	内科
22	岡山大・医歯総合	06/11/13	敷地内禁煙	04/04/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	ある
23	広島大学・歯	06/11/28	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	ある
24	徳島大・歯	07/3/29	敷地内禁煙	07/01/01	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	×
25	九州大・歯	06/10/19	検討中	未定	禁煙	禁煙	禁煙	禁止	総合診療部
		九大は2006.9.1.より屋内外の灰皿撤去したが、敷地内禁煙の宣言はしていない							
26	九州歯科大	07/4/3	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
27	福岡歯科大・医歯総合	07/3/30	決定	未定	屋外	屋外	限定	禁止	×
28	長崎大・医歯	06/3/28	検討中	未定	屋外	屋外	規定なし	規定なし	総合診療部
29	鹿児島大・歯科	06/10/26	検討中	未定	屋外	屋外	限定	禁止	呼吸器内科

タバコ販売をしている大学病院（2006年10月時点）：岩手医大、奥羽大学*、東京歯科大学（水道橋病院）、長崎大学*
（*：2007年4月以降もタバコ販売をしていることが確認できた施設）

以下は本調査の依頼文です。
平成18(2006)年10月16日

歯学部附属大学病院における喫煙対策の実態調査依頼

禁煙推進学術ネットワーク委員長
社団法人　日本循環器学会 禁煙推進委員長
岐阜大学大学院医学研究科再生医科学循環・呼吸病態学　教授
藤原　久義

歯学部附属大学病院　院長殿

貴歯学部におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日本医師会、日本看護協会をはじめ多くの保健医療団体が禁煙宣言を発し、医療従事者の禁煙と医学教育における喫煙防止教育の重要性が注目されております。
医科においては病院機能評価(ver.5)により医療施設の全館禁煙が求められ、さらに、今年６月のニコチン依存症の治療が保険診療となるには敷地内禁煙が必要条件となったことで医療施設の禁煙化が急速に進みつつあります。
2005年には日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本口腔衛生学会、日本口腔外科学会をはじめ９つの医学会による禁煙ガイドラインが発表されました。喫煙関連疾患による国民の健康障害を防止するために、医科と歯科の協力が必要であると考えられます。また、その環境づくりとして医・歯学部とその附属病院が敷地内禁煙であることが重要であると考えております。
06年度におこなわれた調査では、80校の医学部のうちすでに19校で敷地内禁煙が実施されており（さらに7校が06年度内の実施を決定）、23附属病院がすでに敷地内禁煙となっておりました。
http://www.tobacco-control.jp/
今回、９学会合同「禁煙ガイドライン」研究班に日本歯周病学会と日本癌学会が加わった禁煙推進学術ネットワークにより、全国の歯学部と附属病院の敷地内禁煙実施状況の調査を行うことになりました。その結果はインターネット等で公表する予定ですので、歯学部長／学長ご自身もしくは担当責任者からのご回答をお願いしたいと存じます（歯学部長／学長と附属病院長には異なる内容のアンケートを送付しております）。10月31日までに投函願います。
なお、この調査は厚生労働省科学研究（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）の一環としても実施されています。設問内容に関して御不明な点は、下記連絡先にお願い致します。

事務局連絡先：
〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
産業医科大学 産業生態科学研究所
健康開発科学研究室 教授　大和 浩
電子メール：yamato@med.uoeh-u.ac.jp
電話：093-691-7473（ダイヤルイン）
ファクシミリ：093-602-6395

トップへ戻る

全国の歯学部・附属病院の敷地内禁煙の導入状況に関する調査

禁煙推進学術ネットワーク会議資料（2007.3.26）

産業医科大学 産業生態科学研究所
大和 浩、江口将史、瀧上知恵子、尾前知代、太田雅規、吉積宏治
産業医科大学医学部学生（安藤 肇、斉藤奈津子、小笠原隆将、玉野井徹彦、林 哲也）
禁煙推進学術ネットワーク
飯田 真美、埴岡 隆、藤原 久義

資料12

【目的】

歯学部の敷地内禁煙化 ＝ 喫煙しない歯科医師を育成する為の重要な環境づくり

医学部における敷地内禁煙の導入状況（27医学部と34医学部附属病院）は、第16回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会（2007年、京都）にて報告

⇒歯学部について統一した調査はおこなわれていない

・禁煙推進学術ネットワーク
（日本循環器学会　禁煙推進委員長　藤原 久義 教授）
・「受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究」
（平成18年度 厚労科研 主任研究者 大和 浩）

敷地内禁煙化を実施している歯学部・附属病院を把握
↓
対策が遅れている大学・施設の禁煙化を促す

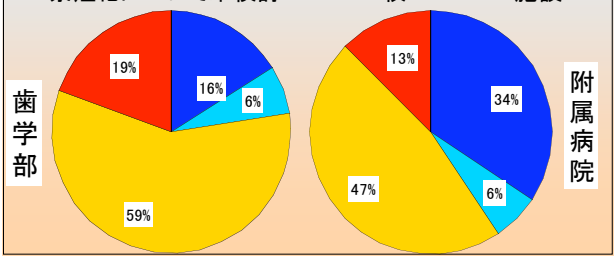
【方法】

歯学部 29校（31キャンパス）：（歯科大学学長・歯学部長）
大学病院 32施設　：（病院長）
↓
2006年10月にアンケートを郵送（第1回）
↓
回答を得られなかった施設に対して
11月にアンケート再送（第2回）
↓
それでも得られなかった施設に対して
電話とファクシミリで督促
↓
回答率100%

【アンケート内容および結果①】

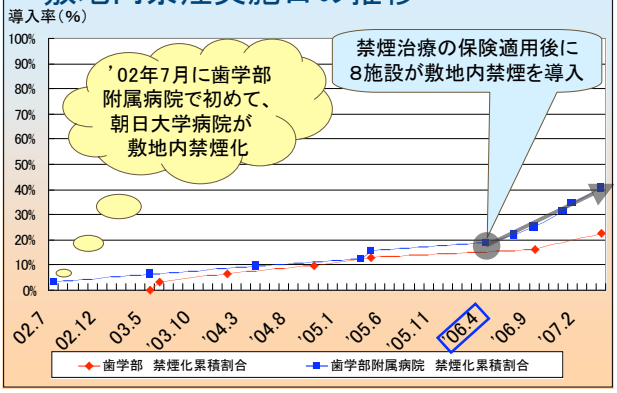
喫煙対策の予定について

	歯学部	大学病院
敷地内禁煙を導入済み	5校	11施設
’06年度内に禁煙化決定	2校	2施設
検討中だが日時は未定	18校	15施設
禁煙化について未検討	6校	4施設



【アンケート内容および結果②】

敷地内禁煙実施日の推移

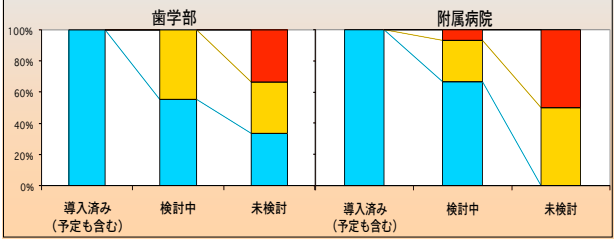


【アンケート内容および結果③】

回答者の敷地内禁煙化に対する意識

『全国の医学部や医療機関の敷地内禁煙化についてどのように考えるか』の問いに対して・・・

- 速やかに敷地内禁煙とするべき
- 将来は敷地内禁煙とするべきだが、現在は時期尚早
- 建物内を禁煙化する程度でよい

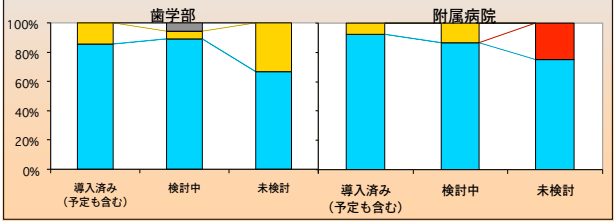


【アンケート内容および結果④】

回答者の医学部との格差に対する意識

『医学部では禁煙治療の保険適用により敷地内禁煙化が進む方向ですが、敷地内禁煙化に医歯格差ができることをどのように考えるか』の問いに対して・・・

- 格差はないのがよい
- わからない
- 格差ができても仕方がない
- その他（同一キャンパスであり格差が生じない）



【アンケート内容および結果⑤】

禁煙外来の有無について

29施設中14施設に禁煙外来存在（48.3%）（保険診療の可否は問わず）

【アンケート内容および結果⑥】

アンケート内のフリーコメント

某大学の回答者のコメント①：
医師のみならず、歯科医師による禁煙指導にも保健医療適用を望む

某大学の回答者のコメント②：
大学のカリキュラム内での禁煙教育の現状の調査も必要と考えます。
医学部の中で学生に対する優れた禁煙教育システムカリキュラムを持っている所があれば、その手法を学びたいと思います。

【考察】①

’06年度内に7歯学部（22.6%）、13大学病院（40.6%）で敷地内禁煙化が実施・決定されることが判明。

敷地内禁煙化「検討中」、「未検討」の歯学部・大学病院では、担当者の意識を変えていく必要あり。

敷地内禁煙化について医歯格差を認めなかった。

今後は医・歯学部が共同して敷地内禁煙導入を検討することが望まれる。

調査結果はインターネット上で公開。
（http://www.tobacco-control.jp/）

全国29歯学部31キャンパスの敷地内禁煙状況（2007年1月22日現在）

青：既に敷地内禁煙を導入 5校
桃：06年度内の敷地内禁煙化が決定 2校
黄：検討中（日時未定）18校
赤：未検討 6校

	学校名	開学日	敷地内禁煙 状況	敷地内禁煙 実施日	屋外の喫煙 場所	屋外の喫煙 歩きタバコ	屋内の喫煙 共有空間	屋内の喫煙 個室等	禁煙教育開始	禁煙支援	喫煙率調査
1	北大・歯	1017	検討中	未定	喫煙なし	禁止	禁煙	喫煙なし	1993	×	×
2	北海道医療・歯	1023	敷地内禁煙	06.04.1...	禁煙	禁止	禁煙	禁煙	2005	×	×
3	岩手医・歯	1019	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	喫煙室	○不明	×	○
4	東北・歯	11.01	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
5	奥羽・歯	[illegible]	未検討		限定	禁止	禁煙	喫煙なし	×	×	×
6	朝日・歯	1030	敷地内禁煙	041.01	禁煙	禁煙	禁煙	禁煙	2002	予/期	×
7	東京医歯・歯	1019	敷地内禁煙	06.09.1...	禁煙	禁煙	禁煙	禁煙	×	×	×
8	昭和大・歯 旗の台	1023	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	喫煙なし	2003	×	×
8	昭和大・歯 洗足	1023	検討中	未定	限定	喫煙なし	禁煙	喫煙なし	1998	×	×
8	昭和大・歯 豊洲	[illegible]	未検討		喫煙なし	禁止	禁煙	禁煙	○不明	×	×
9	日本大学・歯学部	1023	検討中	未定	限定	喫煙なし	?	?	2002	×	○
10	日本大学・松戸歯	1026	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	○	×	×
11	東京歯科大	1023	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
12	日本歯科大	1030	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2001	×	○
13	日本歯科大・新潟	1025	決定	07.04.01	限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	○
14	神奈川歯大	12.04	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2000	×	×
15	新潟大・歯	[illegible]	未検討		限定	喫煙なし	禁煙	禁煙	2001	予/期	○
16	新潟大・歯	[illegible]	未検討		限定	禁止	禁煙	禁煙	×	×	×
17	松本歯科大	1030	検討中	未定	限定	禁止	禁煙	禁煙	2005	×	×

歯学部・大学病院の調査結果を表示

北海道医療大学
Health Sciences University of Hokkaido

■キャンパス内禁煙　■戻る

キャンパス内全面禁煙の実施について

平成１５年５月に「健康増進法」が施行され、受動喫煙などの防止に努めることが学校や企業に求められることとなりました。

本学は、保健・医療・福祉に携わる専門職業人の養成大学であるため、他人の健康に害を及ぼすことが明白な喫煙を看過することはできないとの理由から検討を重ねてきました。その結果、平成１７年４月１日より、キャンパス内では学生・教職員・学外者を問わず全面禁煙とすることにしたので、この旨お知らせいたします。

実施時期　平成17年4月1日

平成17年4月1日

学校法人 東日本学園 理事長
北海道医療大学 学 長
廣　重　　力

禁煙化について文書で説明
北海道医療大学

【考察】②

本調査結果の活用方法としては・・・

＊受験生
＊患者団体
} 情報提供する等

本調査は、今後も歯学部・附属病院の禁煙化の流れを追う為、継続して実施予定。

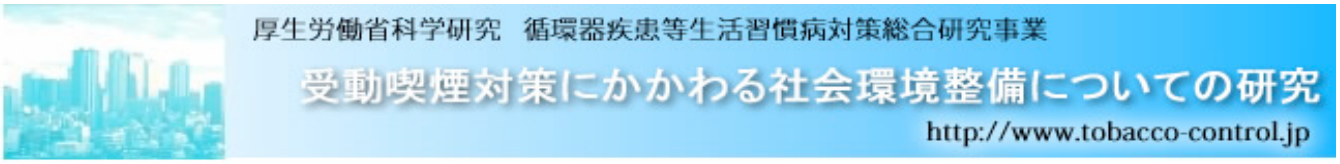
本報告が全国の歯学部・附属病院の敷地内禁煙化に寄与することを期待している。

謝辞：
・禁煙推進学術ネットワーク
（日本循環器学会　禁煙推進委員長　藤原 久義 教授）
・「受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究」
（平成18年度 厚労科研 主任研究者 大和 浩）
により援助された。

資料13

秋田県全県のホテルにおける禁煙ルーム導入状況

ID	禁煙ルーム	総数	割合
5001	9	158	5.7%
5002	0	114	0.0%
5003	5	50	10.0%
5004	0	92	0.0%
5005	0	50	0.0%
5006	0	53	0.0%
5007	2	30	6.7%
5008	22	52	42.3%
5009	13	74	17.6%
5010	0	48	0.0%
5011	0	64	0.0%
5012	0	54	0.0%
5014	126	391	32.2%
5015	19	113	16.8%
5016	4	113	3.5%
5017	0	132	0.0%
5018	0	52	0.0%
5019	0	90	0.0%
5020	0	69	0.0%
5021	0	52	0.0%
5022	0	62	0.0%
5023	11	53	20.8%
5024	1	50	2.0%
5026	0	62	0.0%
5027	0	127	0.0%
5028	0	54	0.0%
5029	11	122	9.0%
5030	0	79	0.0%
5032	3	232	1.3%
5033	0	210	0.0%
5034	14	103	13.6%
5035	11	63	17.5%
5036	3	67	4.5%
5037	12	121	9.9%
5038	5	74	6.8%
5039	20	79	25.3%
5040	26	110	23.6%
5041	0	90	0.0%
5042	54	126	42.9%
5043	4	49	8.2%
5044	0	52	0.0%
5045	改装中		
5046	0	74	0.0%
5047	22	180	12.2%
5048	14	190	7.4%
5049	25	123	20.3%
5050	38	112	33.9%
5051	54	201	26.9%
5052	85	221	38.5%
5053	124	297	41.8%
5054	116	264	43.9%
5055	44	154	28.6%
5056	112	240	46.7%
5057	80	240	33.3%
5058	76	159	47.8%
5059	1	76	1.3%
5060	40	105	38.1%
5061	40	105	38.1%
5062	54	126	42.9%
5063	0	18	0.0%
合計	1300	6721	19.3%



資料14

レストラン受動喫煙対策の考え方

		お客の受動喫煙	従業員の受動喫煙
４点	終日全席禁煙	なし	なし
３点	喫煙専用室（給仕なし）	なし	なし
２点	物理的な隔離 壁、部屋、フロアで隔離	なし	あり
１点	禁煙タイム	禁煙タイムはなし	禁煙タイムはなし
０点	不完全分煙、対策なし	あり	あり

この研究班では２点（物理的な隔離）、３点（喫煙専用室）の
飲食店の情報と写真を募集しています→情報提供のフォーマットへ
写真の添付はyamato@med.uoeh-u.ac.jpまでお願いします。

トップへ戻る

資料１５

2006年(平成18年)4月2日
朝日新聞

禁煙ルームたった2割

福岡、全くない1割

厚労省研究班ホテル調査

福岡市など都市の宿泊施設にある禁煙ルームは、全部屋の2割程度にとどまっていることが厚生労働省研究班（主任研究者＝大和浩・産業医科大助教授）の実態調査で明らかになった。ホテル内の飲食店やロビーなどでの喫煙対策も不十分な場合が多かった。非喫煙者は成人男性でも5割以上を占める。たばこを吸わない客が健康的で快適に過ごすには不十分な現状が浮き彫りになった。

（佐々木英輔）

昨年6月から12月にかけ、公共の宿と都市ごとに一定数以上の客室があるホテルを対象に、福岡市60施設、北九州市20施設、京都市73施設、福島市13施設に質問紙を送った上で、実際に訪ねて調べた。全客室に占める禁煙ルームの割合は福岡21％、北九州17％、京都22％、福島20％といずれも2割前後にとどまった。

都市による傾向の差はそれほどなかった。福岡でみると、禁煙ルームが半数を占めたのは2施設（3％）で、全くないのは10％あった。禁煙フロアを設けていないのも34％。空調は階で共通の場合が多く、部屋だけ禁煙でも問題は残るという。

ロビーを全面禁煙にしていたのは25％で、不完全な分煙や飲食店から煙が流れてくる施設も多かった。受動喫煙の防止を求めた健康増進法を回答者の2割近くが知らず、内容を知っているのは5割に満たなかった。

一方、客の要望があれば対策を強化すると答えた施設は半数を超え、あってもしないとしたのはごくわずかだった。各施設には喫煙対策の順位と1年後の再調査を伝えており、大和さんは「客が声をあげれば、なだれを打って対策が進む可能性がある。改善を期待したい」と話している。

分煙対策 5球場は不十分

札幌、ナゴヤドームは優秀

野球ファンのための分煙対策でも、日本シリーズ開催の札幌、ナゴヤ両ドーム球場は優秀――。大和浩・産業医大教授らが、プロ野球チームが本拠地として使う球場のたばこ対策を調べたところ、こんな結果が出た。25日から富山市で始まった日本公衆衛生学会で発表する。野球場などの多数の客が集まる施設は、2003年に施行された健康増進法で受動喫煙防止策を取るよう定められている。大和教授らは昨年から今夏にかけ、プロ野球12球団の本拠地球場に実地調査やアンケートを行い、うち11球場の結果をまとめた。

産業医大教授ら調査

5球場では対策が不十分で、東京ドームでは屋内通路に設けられた喫煙場所に仕切りがなく、約10㍍離れた観客席でも国の基準の5倍の濃度の粉じんが測定された。喫煙室を設けるなど「今年度中に改善予定」という。

これに対し、福岡ヤフードームなど3球場は内部を全面禁煙として、屋外などに喫煙場所を設置。独立した喫煙室を設けているところも3球場あった。札幌とナゴヤでは、排気装置を備えた喫煙室を整備し、煙がほとんど漏れないような対策が取られていた。大和教授は「子どもファンも安心して観戦できる対策をとってほしい」と話している。

NTT西日本は25日午前8時30分ごろから、光ファイバーを使ったIP（インターネット・プロトコル）サーバーに負荷がかかりすぎたとしている。規制解除のメドは立っていない。

「飯倉ホールディングス（HD）」（東京）元社長・上田高嗣被告（44）に懲役2年、執行猶予4年（同2年）の有罪判決をそれぞれ言い渡した。

▶第56回日本アレルギー学会秋季学術大会

たばこ煙評価基準値の見直しを

東京大学大学院医学系研究科の中田ゆり氏は，各種サービス業・交通機関・家庭内における受動喫煙の程度や量を，デジタル粉じん計で調査した結果を報告した。調査対象とした多くの施設で，厚生労働省が定めた喫煙室内の評価基準を上回っている現実が明らかにされるとともに，わが国の同基準値自体が改善を要する甘い数値であること，早急な見直しが必要であることを強調した。

禁煙スペースの粉じん濃度が喫煙室内の評価基準値を超える

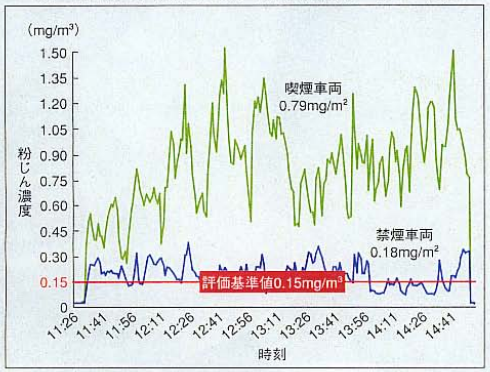
中田氏は，産業医科大学の大和浩教授とともに，飲食店，カラオケ店，タクシー，新幹線，住宅などにデジタル粉じん計を持ち込み，各空間の粉じん濃度を調べた。その結果，わが国の受動喫煙防止対策が不十分であることが浮かび上がった。

同氏によると，全面禁煙の飲食店でこそ安全な空気環境であることが確認されているが，喫煙席と禁煙席が同じ空間に配置された不完全分煙の飲食店，喫煙車両と隣接した禁煙車両（図）などの粉じん濃度レベルは，喫煙室内の評価基準値として規定された0.15mg/m³をはるかに上回っているのが現状だった。「たとえ禁煙席を選んでも，受動喫煙から身を守ることはできない」と同氏は述べている。

また，タクシーや自家用車では，喫煙者が喫煙直後に乗り込んだ場合も車内の粉じん濃度は増加し，喫煙者乗車前の４倍（0.08mg/m³）になっていた。これは喫煙者の肺のなかに残っていたたばこの煙が車内で吐き出されることで，車中の粉じん濃度が上昇することが原因と思われた。

同氏が指摘するように，微量の受動喫煙でも有害であるという認識をさらに高めるべきである。「カラオケ店では禁煙であるはずの廊下にもたばこ煙が拡散し，喫煙室の基準値を超えていた。労働中に受動喫煙の被害を受ける従業員の多くが高校生・大学生のアルバイトであることを認識すべき。また，列車の車内販売員や車掌は喫煙車両を通らざるをえないが，喫煙車両に至っては基準値の３～11倍という非常に高い濃度の受動喫煙に曝露されることを真剣に考えるべきだ」とした。

〈図〉喫煙車両に隣接する禁煙車両（新幹線）の粉じん濃度



そもそも0.15mg/m³に設定された喫煙室内の評価基準値自体に問題があるという。これは，30年以上前に室外大気汚染の評価基準を参考に策定された科学的根拠のない数値であり，たばこ煙の特性や有害性を考慮して設定したものではない。同氏は，「この値を受動喫煙の許容基準と誤解している人も多く，わが国でも受動喫煙がゼロであることが求められていることを周知させるべき」とし，「0.15mg/m³という数値は，世界保健機関（WHO）空気環境ガイドラインの６倍，欧米の室内環境基準値の約２～7.5倍も高い。米国環境保護局のAir Quality Indexに照らし合わせると，老人や子供，病者が入るべきでない危険な環境に該当する数値。早急に改善すべきだ」と主張した。

なお，本年発表された米国公衆衛生長官の報告書では，受動喫煙には安全なレベルはなく，「基準値以内であれば安全」とは言えないとし，各国政府は国策として可能な限り低い濃度を設定すべきという見解を示している。

毎日新聞

3　13版　2007年（平成19年）2月11日（日曜日）　総合　ニュースの焦点

敷地内 大学病院47％ 医学部は33％

今年度内実施・計画

対策遅れくっきり

全国の国公私立大付属病院と医学部で、今年度末までに敷地内禁煙を実施・計画している病院は47％、医学部は33％にとどまることが、産業医科大産業生態科学研究所の大和浩教授らのグループの調査で分かった。受動喫煙防止の努力義務を課す健康増進法が03年5月に施行され、禁煙外来を設置する病院も増加。たばこ関連疾患を減らす取り組みが進む中、拠点病院と医師養成機関で対策が遅れている実情が浮き彫りになった。【新井隆一】

産業医大グループ調査

グループは昨年8月、大学病院83施設と80校の医学部にアンケートを郵送、同10月までにすべての大学病院と医学部から回答を得た。

敷地内禁煙を実施済みの病院は36％、医学部は25％、今年度内に実施を計画している病院は11％、医学部は8％だった。一方、検討中だが日時は未定としたのは大学病院41％、医学部29％、未検討としたのが大学病院12％、医学部38％だった。

また、敷地内禁煙化についてどう考えるかの問いに、実施・計画している大学病院、医学部のほとんどは「速やかに敷地内禁煙とすべきだ」と回答。一方、未検討の大学病院、医学部からは「時期尚早」「建物内を禁煙化する程度でよい」との回答が目立ち、意識の差が明白になったという。

病院には呼吸器系や循環器系の疾患を持つ患者も多いが、喫煙室ではドアの開閉で煙が漏れ、建物内禁煙でも玄関付近や駐車場などで受動喫煙の恐れがある。敷地内禁煙を導入している京都大医学部付属病院は「患者の健康をサポートするのが病院の社会的使命」と理由を説明している。

かすむ健康の拠点

大和教授は「病院の敷地内禁煙は、患者が禁煙するきっかけづくりになる。医学部禁煙も喫煙しない医師の育成に重要」と話す。調査結果は、11日から京都市で開かれる日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会で発表する。

早急に100％達成を

高橋裕子・奈良女子大教授（予防医学）の話　禁煙化は建物内でよいといった意見や時期尚早とする意見は、受動喫煙に関する医学知識の不足によるもので時代遅れだ。すべての大学病院と医学部は早急に敷地内禁煙を達成すべきだ。

夢応援プロジェクトのイベントレポートを公開！

Yahoo!検索 検索

YAHOO! JAPAN ニュース

Yahoo! JAPAN - ヘルプ

トピックス　写真　動画　地域　リサーチ　ポピュラー　検索　ニュース記事　条件検索

主要　国内　海外　経済　エンターテインメント　スポーツ　テクノロジー　ニュース提供社

政治　社会　人

国　内　　提供RSS

＜敷地内禁煙＞実施・計画中は半数以下 全国の大学病院

2月11日3時3分配信 毎日新聞

全国の国公私立大付属病院と医学部で、今年度末までに敷地内禁煙を実施・計画している病院は４７％、医学部は３３％にとどまることが、産業医科大産業生態科学研究所の大和浩教授らのグループの調査で分かった。受動喫煙防止の努力義務を課す健康増進法が０３年５月に施行され、禁煙外来を設置する病院も増加。たばこ関連疾患を減らす取り組みが進む中、拠点病院と医師養成機関で対策が遅れている実情が浮き彫りになった。

グループは昨年８月、大学病院８３施設と８０校の医学部にアンケートを郵送、同１０月までにすべての大学病院と医学部から回答を得た。

敷地内禁煙を実施済みの病院は３６％、医学部は２５％、今年度内に実施を計画している病院は１１％、医学部は８％だった。一方、検討中だが日時は未定としたのは大学病院４１％、医学部２９％、未検討としたのが大学病院１２％、医学部３８％だった。

また、敷地内禁煙化についてどう考えるかの問いに、実施・計画している大学病院、医学部のほとんどは「速やかに敷地内禁煙とすべきだ」と回答。一方、未検討の大学病院、医学部からは「時期尚早」「建物内を禁煙化する程度でよい」との回答が目立ち、意識の差が明白になったという。

病院には呼吸器系や循環器系の疾患を持つ患者も多いが、喫煙室ではドアの開閉で煙が漏れ、建物内禁煙でも玄関付近や駐車場などで受動喫煙の恐れがある。敷地内禁煙を導入している京都大医学部付属病院は「患者の健康をサポートするのが病院の社会的使命」と理由を説明している。

大和教授は「病院の敷地内禁煙は、患者が禁煙するきっかけづくりになる。医学部の禁煙も喫煙しない医師の育成に重要」と話す。調査結果は、１１日から京都市で開かれる日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会で発表する。【新井隆一】

▽高橋裕子・奈良女子大教授（予防医学）の話　禁煙化は建物内でよいといった意見や時期尚早とする意見は、受動喫煙に関する医学知識の不足によるもので時代遅れだ。すべての大学病院と医学部は早急に敷地内禁煙を達成すべきだ。

最終更新:2月11日3時6分

注目の情報

浩志(26歳)も始めました！

社会人4年目の僕が豊富なラインアップから選んだのは？

nikkeiBPnet on Yahoo!ニュース

定率減税廃止 サラリーマンの給与はどうなる？

税制 - 税制改正のポイント

国内トピックス

75歳以上 在宅療養支援プラン
沈没漁船「大型船が当て逃げ」
十勝で再燃か 鈴木・中川戦争
「サプリ」の安全性どう確保?
日朝代表が会談、拉致提起か
不完全燃焼防止装置が盲点か
民主、予算委論戦に大物3人

トピックス一覧
バックナンバー

国内アクセスランキング

記事

米軍キャンプ付近で爆発音＝公園に発射台、ゲリラか－神奈川・座間（時事通信）- 2時0分

米軍キャンプ座間に飛しょう弾？過激派のゲリラ事件か（読売新聞）- 2時7分

若田さん、宇宙長期滞在へ＝日本人初、2008年度国際基地に（時事通信）- 6時30分

1位～20位

写真（総合）

ブラジル人男性、危機一髪で孫をヘビから救出（ロイター）- 12日(月)13時48分